京城日報

二十六日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 △一部金二錢五厘 △一ヶ月金五十五錢 △郵稅一ヶ月金[illegible]

廣告料金 △五號十五字詰一行[illegible]

發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 小川三之助

發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 電話 編輯用 長三四五番 營業用 長三二六番 振替貯金口座京城三〇番

時間表

[illegible]

十一月一日現行

總督告辭

二十六日擧行せる京城醫學專門學校卒業式に於て釜屋武官總督代理として臨席左の如き總督の告辭を朗讀せり

京城醫學專門學校卒業生諸子 諸子志を立てゝ本校に入りてより研修を懈らず茲に本校所定の課程を卒り將に出でゝ業務に就かんとす寔に賀すべきなり

惟ふに現今朝鮮の醫術は未だ進歩の域に達せず有爲の人を待つこと極めて切なり醫術の用たる貴重なる人命に關するを以て之に從事する者の責任極めて大なり諸子之に鑑みる所あり能く本校教養の旨趣を體し患者に接するに誠實懇篤なると共に益々學術の研究技能の練磨を怠らず又人格の修養品位の保持に至りても常に愼密の用意を爲し以て其の天職を完うせんことを期すべし

獨逸東漸と極東

▲中立宣言協議 セミヨノフ軍の參謀部員はダウリヤ停車場にて過激派に合せる將校捕虜兵の間に遊說中の所其の効を奏し彼等は遂に中立宣言の協議を爲せり（哈爾賓電報）

▲佛國民出兵期待 佛國民は日本出兵に關し米國の決意を期待しつゝあり（倫敦電報）

▲反革命侵入防止 トロボグラニーサナヤ（露支國境）よりの報に依れば同地にハバロフスクより大砲機關銃を携帶せる二百五十名の過激派軍到着せるが其の目的は滿洲より反革命分子の露領に入り込むを防止するに在りと（哈爾賓電報）

◎戰鬪第一期終了 獨軍公報に曰く大戰鬪の第一期は終局を告げたり今や我軍はボーム、ペロンヌの東北戰線に戰ひつゝあり（倫敦電報）

◎敵巴里郊外砲擊 二十三日巴里發電に曰く『公報に據れば敵軍は二百四十粍砲を以て遠距離より巴里郊外を砲擊しつゝあるが發砲は十五分間毎に行はれ是れが爲め即死十二名負傷十五名を出したり目下佛軍にては對抗策を講究中なり』（倫敦電報）

◎英防禦線突破さる 英軍は獨軍の爲めサンカンタンの防禦線を突破され西方地點に退却しつゝあり（倫敦電報）

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（廿五日）

▲本會議 ＝續續延著＝

二十五日午後一時二十分開議、諸般の報告あり、大岡議長は議員板東勘五郎氏逝去に就き弔詞を贈り度しと諮り滿場異議無く承認、了て藤卓爾氏（政友）の青森驛海陸聯絡設備に關する質問森田茂氏（憲政）の外國人共同居留地域內に於ける取引所設置認可に關する質問、兒玉右二氏（新政）の對露對支政策に關する質問あり、岩崎勳氏（政友）の緊急動議にて他の質問を延期し日程に入る

●北海道鐵道完成に關する建議案 ●北海道拓殖完成に關する建議案 右兩案を一括して委員長井上角五郎氏（政友）の報告あり後案に就き樋口秀雄氏（憲政）反對意見を述べたるも採決の結果否決となり右兩案共可決

●日本體育會國庫補助に關する建議案 委員長熊谷直太氏（政友）の報告通り可決確定

●警察官年功加俸令制定に關する建議案 委員長代理槇松隆慶氏（政友）報告通り原案修正可決

●不動産金融改善に關する建議案 ●普通銀行の金融に關する建議案 委員長氣賀勘重氏（政友）報告通り修正可決

●神戸市內鐵道改良急施に關する建議案 委員長廣岡宇一郎氏（政友）の報告あり可決

●水産教育振興に關する建議案 委員長廣瀨鎭之氏（政友）報告通り可決

●勞働保險法制定に關する建議案 委員長の都合に依り延期し次で

●松本鐵道建設に關する建議案 委員長高島順作氏（政友）報告通り可決

●全名鐵道敷設に關する建議案 委員長戸水寛人氏（政友）報告通り可決

●衞生行政中樞機關擴大に關する建議案 委員長金杉英五郎氏（新政）報告通り修正可決

次で請願委員長扇井三郎氏（政友）より日本海橫斷航路急速開始の件外二十四件の請願採擇の旨を報告し同三時四十五分散會せり

◎學士院會員 廿五日左の通り辭令あり（東京電）

文學博士 村上專精　醫學博士 伊藤隼三　帝國學士院會員被仰付

◎鮮銀改正法案論戰

其焦點は保證準備の擴張にあり

二十五日貴族院に於ける鮮銀法改正案附議の委員會は質問者荒井賢太郎氏一人にて

▲勝田藏相 森銀行局長 荒井氏に應酬し結局滿場一致にて可決二十六日の本會議に上程の由にて決定より通過疑ひ無かるべし質問應答は保證準備發行限度擴張にあるが其要點に付き所著電を見るに

荒井氏が日本銀行は保證準備發行限度一億二千萬圓とし其他は正貨準備により紙幣を發行しつゝあり鮮銀も此際正貨準備を增加せば保證準備發行限度擴張の必要なきに非ずや又政府は將來正貨準備（現在は三分の一他は日銀兌換券也）制を增加するの意なきや若し鮮貿易も逆調のみにあらざるに付正貨維持上困難なけん更に

▲副總裁設置 の理由等に就き質問せしが右に對する藏相及び局長の答辯要領は

日下鮮銀券の發行は三分の一を正貨準備とするの制にて保證準備は三千萬圓を限度とし居れるが此制度は今日の實際上不便なるのみならず內地朝鮮間の爲替關係に於て又鮮銀業務の經營發展上に支障少なからず現在の發行力は約六千萬圓なるも大正十年頃に至らば一億圓若くば一億一千萬圓に達すべしと思考さるゝに付今回保證準備を五千萬圓にせしは大體の目安なり又荒井氏は朝鮮貿易の出超により正貨を得るは困難なからんとの論點より正貨準備の發行を增加せしむべしと曰はれしが現在の鮮銀は政府への

▲貸上金 第一銀行業務の繼承滿洲に於ける正金銀行の義務承繼低利資金の供給等に於て少なからざる犧牲を拂ひつゝあるに付此上正貨準備により銀行券の增發くは銀行の利益を減殺すべし又今回の保證準備擴張は銀行の利益を增進するためと云ふよりも寧ろ銀行活動力の增加を計企するたるより出づ若し夫れ荒井氏の所說たる正貨（日銀兌換券を除く）準備增加の事は今後其の方針にて進むべし副總裁の新設は鮮銀の業務が鮮滿蒙露支のみならず爲替中心地たる英米にも發展せんとする結果並に他銀行との權衡上其必要を生じたる譯にて理事の現制には何等變更を加へずと云ふにあり

◇大決戰

開始されん 獨攻擊序幕

▽獨軍頻に集中 西部戰場に於ける世界の砲戰が果して豫期せられたる所謂獨軍大攻勢の前提なりや否やは尙ほ幾分疑問視せられつゝありしが最近著の外電によれば英國總相ボナー・ロー氏は二十一日夜下院に於て發表して「獨軍の攻勢はスカルプ河よりオワーズ河に至る五十哩の正面に亘りて其の規模の大なる開戰以來未曾有なり」と云へりとあり獨軍は依然として兵力及び武器の集中を續行し殊に其の兵力の如き情報に增加して今や確實に知り得たるものゝみにても百八十六師團に達したりと云へば其の實際兵力は聯合軍に比し却て若干の多數を算せるやも未だ知る可からず武器彈藥其他諸軍需品に至りては固より聯合軍に及ばざること遠かる可しと雖も今回東部戰場に於て鹵獲せる火砲の如き實に千數百門を數へ其他の武器と共に多少修理の上夫々之を利用し得べきこと勿論にして既に其の大部分は西部戰場に輸送せられつゝあるの形跡ありたり

▽攻勢開始確實 獨軍の攻勢準備既に斯くの如きものあり氣候の關係より觀るも寔に攻勢開始の最適の時期なるを想はしむるのみならず攻勢地域として報せらるゝ陸も亦正に英佛兩軍の接續點を中心として彼の昨年四月獨軍が作戰上目的の大部退却を爲して以來たる地方と殆ど相一致し勢ひ其の陣地は他方面の陣地に比して聊か薄弱なるの憾みなきに非ず即ち獨軍攻勢準備の進捗、氣候關係、攻勢方面及び其の規模等之を綜合して稽ふれば獨軍最近の攻勢が豫期せられたる所謂西部大攻擊の序幕たるは疑ふ可からざるが如し唯だ獨軍の主攻擊が果して終始叙上の正面に限らるゝや否や即ち海岸方面若くは瑞西方面に轉ずるが如きことなきや否やは今後の情勢に俟つて判斷するの外なしと雖もスカルプ、オワーズ間は上記の如く兩軍の接續方面なると同時に其の陣地は比較的薄弱なりと云ふ二重の弱點あれば恐らく獨軍は先づ右の正面に對して必死の猛擊を加ふるならんか

▽聯軍大に備ふ 聯合軍に於ても豫てより事態の甚だ重大なるを看破し兵器彈藥の蓄積、塹壕陣地の完備等に對して全力を傾倒するは勿論、兵力の補充に關しても特別の注意を拂ひ嚢に伊太利戰場に赴援せしめたる佛軍六師團、英軍三師團の如きすら最近既に之を西部に召還し又サロニカ戰場よりも希臘新軍の出來編成せられたるに連れて若干の英軍師團を西部に割愛せんとしつゝありたり尙ほ一時輸送を差控へたるやの觀あり米軍も西部戰場の次第に急を告ぐるや近來再び大輸送を開始して現に第八回目の師團の到著を見つゝありと云へり獨軍果して克く攻むるか聯合軍將た克く守るか今や乾坤一擲の大決戰は開始せられたり全世界の視聽は擧げて此の一戰に集中せらる可く切に聯合軍の健鬪を祈りて徐に後報を待たんとす（東京）

◎當座預金利息計算單位改正

最低百圓を三百圓に引上＝京城組合銀行の決議＝四月一日より實行

京城組合銀行にては最近銀行集會所に會合當座預金に利息を附する現在の計算單位一百圓は財界の現勢に照らし低きに過ぐとなし其の引上に就き凝議せし結果之れを

▲三百圓 に改正するに決定し來る四月一日より實施の事となりたり右に就き聞く所によれば各銀行の當座預金利子計算單位は從來一百圓とし各日の差引殘額が百圓以上に上らざれば利子を附せざる事となり居りしが此の制度は各銀行の創立當時より持續し又他の銀行は其の實行開始期に新舊あり區々たるも要するに大正元年頃より一齊に同一態度を執るに至れり然るに各銀行預金貸出推移を觀るに現在の計數は之れを明治四十二年頃に比し預金は殆んど三倍貸出亦同額の增進を告げ右に關聯し各種の銀行業務は何れも增大繁多となりしに付往て

▲京城財界 の幼稚なりし時代に定めたる當座預金利息計算單位の引上に對する議論銀行業者の間にあり兩來寄り〳〵調査を進めたるが一方各銀行の內部より云へば何分當座預金の取扱は手數を要する事少なからず且つ今日の如く其の額の增大を見たる際其の費用も大に嵩み居れるを以て旁々此際利息計算單位を引上ぐるは財界の大勢上妥當を缺かずと云ふに一致し結局其の引上額に就き審議の結果內地大銀行が單位を五百圓に定め居る例を參酌して京城組合銀行は三百圓に引上ぐる事に決定せしものゝ如し

▲地方銀行 に對しては何等強制せず例へば鮮銀本店にては四月一日より三百圓單位をとるに至れるも平壤仁川元山等の支店に同一步調を及ぼす如き事はなき模樣なれど元來當座預金利子計算單位の上問題の提起は當初釜山より起り來りしものにて此の事に付如上京城銀行團の態度一致は地方銀行團の倣ふ所となるべく大體に於て當座預金利子の計算單位は三百圓に統一さるべしとの觀測は妥當を缺かざらん尙ほ當座の如き浮動預金に對しては銀行は寧ろ手數料を預入者より徵收すべしとの議論近來英米銀行家の間に唱へらるゝ位に付此の改正は一面に於て僅に預入者の

▲不利益 となり事實上預金利子引下の結果となるべきも物價騰貴して銀行經營費增高せる今日の事なれば止むを得ざる處置なりと曰ふ人あり

◎學資給與規程改正 明治四十四年十月朝鮮總督府令第百三十一號學校生徒學資給與並に卒業後の服務義務に關する件中改正の件は二十七日の官報を以て發布大正七年四月一日より施行のことゝ成りたり

◎定例長官會議 廿六日午前九時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き各部長官局長等參集諸般の政務に就き協議する處ありたり

◎日支聯絡會議 支那側の出席

日支聯絡會議に出席すべき支那委員は京奉鐵道フォーレー氏交通部秘書衞國垣氏同經理課長ヘンルーソン氏交通部員胡鴻鄭氏同魏武英氏及び京漢鐵道運輸課長王潤魚氏等にして電氣局代表者團と同行すべしと

◎阪谷男出發 入京中なりし阪谷芳郎男一行は二十七日午前十一時南大門驛發列車にて奉天經由北京に向ひたるが停車場には總督代理高橋武官其他官民の見送り多かりき

◎立花師團長東上 來る四月八日陸軍省に出頭を命ぜられ序を以て催さるゝ全國師團長會議列席の爲第十九師團長立花小一郎中將は高級副官田輪少佐を隨へ四月三日午前八時五十四分龍山發列車にて東上すべし

◎古海總長歸任 十九日夜京城出發新義州、義州、鎭南浦、兼二浦管內視察中なる古海警務總長は二十六日夜南大門驛着列車にて歸任の筈

◎市川參謀長出發 軍司令部參謀長市川賢太郎少將は既報の如く馬山地方視察及び同地方部隊第一期檢閲視察の爲め二十五日龍山發大邱に向へり

◎久保局長東上 滿鐵京城管理局長久保要藏氏は四月五日より一週間東京に於て開催さるゝ日支聯絡會議出席の爲め小林職員帶同二十七日朝南大門發列車にて東上すべし

◎高野店長上阪 三井物產支店長高野省三氏は二十五日午後七時五十分南大門驛發列車にて大阪に向へり四月上旬歸京の筈

東京より

獨逸東漸と極東問題（六）（下ノ中）

在京 一記者

○次に吾人の辯せざる可からざるは、自衞の爲に出兵するは可なりと雖も、侵略の爲にするは不可なりと云ふ說是れ也。

○謂ふ迄も無く、我が出兵の目的は、帝國自衞の爲にして、侵略の爲に非ず、苟も我が帝國にして、獨逸的軍國主義を執るに意あらしめば、歐洲大戰と同時に、西伯利地方一帶の如きは、之を唾手の中に收むるは、容易の業なりし也。而して我の之を、肯せざりし所以のものは、我が帝國が徹頭徹尾信義の國にして、一毫も侵略的野心無きを證するに足るべし。故に今日我が帝國が西伯利方面に出動するも、亦宜しく自衞的ならざる可からず。平和的ならざる可からず。東邦永遠の平和を確保する目的たらざる可からず。彼の版圖擴大主義に出でゝ、空しく露國の反感を買ひ、聯合國の猜疑を招くが如きは最も愼まざる可からざる所、固より論無し。英國外相バルフォアが英國議會に於て、同じく聯合國の一員たる日本の西伯利出兵が全然非利己的にして、聯合國に對し、極めて、忠實なる動機に出でしものなることは勿論。現在の時局に對し、聯合國間に何等かの協定成れりとせば、是れ獨逸が獨帝をして更に露國大公の冠を被らしめむとする行動を防遏せむとするもの也。』と云へるは、蓋く我が帝國の意志を道破せるもの也。然るに、世の論者。動もすれば自ら帝國の行動を誤解し、西伯利出動を以て侵略主義なりと臆斷するが如きは、吾人が非出兵論者の爲に深く之を惜まざるを得ざる所也。

○次に吾人の辯せざる可からざるは、出兵の得失相償はずと云ふ說是れ也。勿論、西伯利出動は重大なる事件にして、其の軍費の莫大を要すべきは、彼の大島陸相の議會に於ける答辯を待つ迄も無しと雖も、帝國出動の目的が、東邦平和の爲め、帝國自衞の爲に已む可からずとせば、豫しめ軍費の多少如何を考慮するの遑なきに非ずや、我が帝國にして聯合國に左袒せずむば則ち已む。苟も聯合國に左袒し、戰後の平和會議に於て、有力なる發言權を占め東邦平和の基礎を牢立せむと欲せば、國民は其の犧牲を拂ふの覺悟無かる可からず。然るに、今日の如き危急存亡の場合に際し、其の犧牲を拂ふを吝みて戰後に於ける利益のみを獲得せむとするが如きは聯合國の與みせざる所たる、辯を俟たず。今日の財政の前途を顧慮し、躊躇逡巡すべき時にあらず。而かも況んや今日出動の累は、巨億の軍費にも換へ難き將來の收穫あるに於てをや。將來の收穫とは何ぞや、對支問題の解決其の一也。滿蒙問題の解決其の二也。戰後に於ける西伯利富源の開發、其の三也。

人事消息

▲北島醫學博士 入京中の處二十六日朝南大門驛發列車にて內地へ

▲菅田勇氏（[illegible]所長） 二十五日附を以て出府を命ぜらる

▲[illegible] 二十五日午後入京天眞樓へ

▲太田嘉山憲兵分隊長 二十五日午後入京

▲大垣丈夫氏（京城通信社長） 二十五日午後安東方面より歸京

▲高野省三氏（三井物產京城支店長） 二十五日夜東上

▲小田榮氏 二十六日朝出發內地へ

九州要地歷訪（八）

別府生

◇小倉の將來

◆鈴木の大里なる名稱に對し、小倉は久原の小倉なりと呼ぶ聲一昨年來北九州の一角にありき、コハ久原氏が戸畑に一大製鐵所を經營せんとするに伴なひ原鐵石の荷揚げ鐵類の搬出其他の便宜上、獨力にて小倉築港を經營し、海面の埋立をなし、小倉の事業界に相當の投資を行ふならんと云ふ風說より生れ出でたるものと存じ候

◆然るに久原製鐵所は今茲浦東洋製鐵と併合せしに付その經營主腦者の變革より小倉の久原築港說は自然立消えの外なきに至りたる如し、小倉市理事者中には猶ほ久原築港說に一縷の望みを繫ぎ居れる者あるに似たれど、洞海灣國港問題の漸く事實とならんとする際、東鐵が前面の洞海灣を捨て、背後にして而して若干の距離ある小倉築港をなすべしとは信じ得ざる所なり又近時の久原は或る事情上一時の景氣なく新事業は手控への方針なりと云へば、小倉市が久原に多大の望みを囑するは到底[illegible]の類ならんと曰ふ人多く候

◆唯北九州に於ける工業勃興の機運は從來閑却されし小倉市をも見逃さず、最近小倉並にその周圍に出現せんとする工場は東京製鋼、小倉第二工場、大阪曹達小倉工場、大正電球、日本陶器の四工場あり東西三十町南北十二町半而して其の約二分の一は師團の敷地に奪はれ所謂四字型をなし居る小倉市にとりては、既設の數工場と共に相當活氣ある狀勢を現出致し居候

◆唯工業地としての小倉には大なる缺點あり、乃ち其の一は狹なる市中を約二分の一も陸軍に占められ全く餘地なき事其の二は海面淺にて海港としての價値を全く附せられざる事而して其の三は餘りに海岸部近くを鐵道線路の走り居る點にあるべし、之等の缺陷を補ふには陸軍官衙の移轉、海面の埋立並に築港の外なけん、然も築港は前掲の理由により久原家の經營望み難しとせば、當分其の實現を見る能はざるべく小倉市にとりては其の繁榮上遺憾に候

◆唯師團の移轉並に小倉海面の埋立は果して如何、故田中市長は右に對し熱心に劃策し調查し交涉を續けゐたるも最近中途病逝せしを以て事實小倉のためには非常の損害ならん、但し小倉陸軍の移轉は陸軍が必らずしも市中樞要の地を占據する必要なかるべきを以て適當の代地を提供せば大なる困難なきにあらずや、又小倉海面埋立は目下二三の出願當局に出で居れる模樣にて二三十萬坪以內の埋築ならんか、殆んど潮流の方向等に就ても影響なしとの事に付、其の許可は至難ならざるべしとの說有力に候

◆師團市外に移り海面新に數十萬坪の餘地を得ば小倉の事業的發展も一層注目に値すべきか、然もそは信せられず、數年間に來るならん其の時期が如何に右兩問題の解決可否にありと稱するも必らずしも見當違ひの評にあらざるべしと存じ候

肺ペストを視て

恐るべき悪疫を人民も當局も 最初は知らぬ顔をしてゐたがコロリ〳〵と斃れて行くので俄かに騒ぎ出した始末

感心なのは外國宣教師の活動

肺ペスト流行地から歸つた　北島醫學博士談

內務省より出張を命ぜられ支那に於ける肺ペスト流行及び防疫狀況視察中なりし北島醫學博士は既報の如く二十四日入京二十六日朝出發したるが其談に曰く

這回は直隸省から山東山西兩省に廻はり浙江省にも足跡を殘して來た、肺ペストは未だ全く終熄を見るに至らぬが一頃に較べると

◆◆大分下火 になつて來た事は事實である、初發以來三千五六百人の患者を出したが五億の人口を包擁する支那としては割合に夥ない方で能くコレ位の患者で止つたものと思ふ、肺ペストの發生當時一般支那人は普通の熱病位に考へて平氣で居たが患者がコロリ〳〵と死んで了ふので始めて肺ペストと云ふ事に氣が付き俄に

◆◆騒ぎ出し たやうな始末である、コレは一般支那人許りではない、肝腎の當局すら對岸の火災視し在留外人から八釜しく言はれて始めて防疫に從事し出したと云ふ狀態である、其後滿鐵や朝鮮からも應援の爲め醫師を派遣したが當時最も活動したものは醫師を兼ねた外國の宣教師である、技術はお話しにならぬ程

◆◆拙劣な物 だがソレでも當時は非常に助かつた、這回の流行地中最も猖獗を極めたのは有名な萬里の長城の外の豐鎭と云ふところだが其他は濟南でも津浦鐵道の沿線でも然う世間に傳へらるゝ程猛烈ではなかつた、患者も濟南を除けば大抵旅客で系統も略判つて居る、濟南のは先づ停車場勤務の巡警に感染し其巡警から家族の者に感染し其家族から

◆◆更に知人 に感染したものだがコレは直ちに喰ひ止めた世間では全濟南が肺ペストに侵されたやうに云つて居るが事實は單にコレ丈に過ぎぬ、一體肺ペストは窒扶斯や猩紅熱と異つて媒介者がない、人から人へ直接傳染するのであるから往來の途を絕つて了へば容易に防疫する事が出來る、ソコへ行くと支那の田舍の民家は

◆◆誂へ向き である、支那の民家は周圍が壁で出入口が一つしかないから假令患者が發生しても卽座に其出入口を遮斷して了へば決して他に傳播する虞れはない、交通を遮斷する前に病毒が飛散しても其の部落の周圍には必ら城壁があるから其出入口さへ警戒して居たなら容易に喰ひ止める事が出來る、衛生上の施設が完備して居ないにも拘らず又國民の

◆◆衛生思想 が發達して居ないにも拘はらず最初想像した程、慘害を及ぼさなかつたのは無論防疫醫師團の活動の力にも依るが一つは支那の民家が防疫上誂へ向きに出來て居たからである、此外幸ひな事には今回の流行地が主として北支那であつた事でコレが滿洲の如く苦力の往來の頻繁なところであつたなら如何に家屋の構造が誂へ向きでも防疫は餘程困難であつたらうと思はれる。

白晝強盗

物騒な營口市街 邦人支那人兇漢に金

營口在住の邦人中馬藥房主は廿五日午前十時店員竹內孫次郎に金千二百圓を持たせ夜來の吹雪中を隆興行へ預金の爲め赴きつゝある途中自宅より一町餘の往來路街上にて支那人兇漢の爲めに强奪されしより遁さず追跡せしも犯人の行衞不明なり（營口特電）

官衙會社殆んど燒失

全燒八百＝水戶大火後報

裁判所女學校郵便局知事官舍聯隊區司令部銀行會社類燒す

水戶市は廿五日午後二時迄に東南の烈風下に約八百戶を燒失し裁判所、高等女學校、聯隊區司令部、知事官舍其他銀行會社郵便局等も灰燼に歸せり（東京特電）

兩市火災

松本の五十戶　橫濱の四十戶

廿五日午前十時松本市に出火あり延燒五十戶烏有に歸せり（東京特電）

廿五日午前八時橫濱市に出火あり延燒四十戶灰燼に歸したり（東京特電）

岡山縣下でも

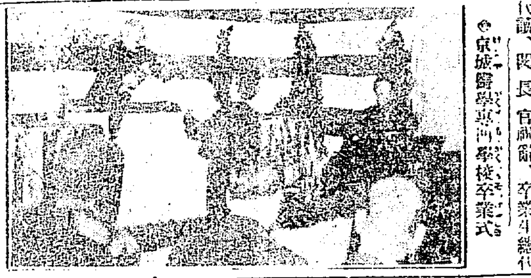
三十五戶燒失

岡山縣久米郡福岡村字金屋山本辰治方にて廿四日夜出火延燒三十五戶灰燼に歸せり（大阪特電）

初めて朝鮮人の女醫を出す

京城醫專卒業式　卒業生四十七名

京城醫學專門學校に於ては既報の如く二十六日午前十時より同校二階大講堂に於て第二回卒業式を擧行せられたり今回の卒業生は優等卒業生尹治衡、金聖洙、梁珍鴻三名外四十一名及び女子卒業生金英興、安壽敬、金海志三名を合せて四十七名にして重なる來賓として總督代理峯屋海軍少將を始め閔李王職長官、李王職事務官局官吏其他朝野貴賓百餘名に達し定刻を報ずるや芳賀校長開式を宣し次で君が代二唱、勅語奉讀、證書授與、賞狀授與、校長訓辭、總督告辭代讀、閔長官祝辭、卒業生總代答辭ありて式を終りたり因に今回の女子卒業生三名は朝鮮の女子として醫師たるの資格を得たるは今回を以て嚆矢にして孰れも京城或は地方に於て開業する希望なりと



◎京城醫學專門學校卒業式

本田博士奉職十年

記念の謝恩式　水原農林卒業生より記念品を贈呈

水原朝鮮總督府勸業模範場技師兼農林學校長農學博士本田幸介氏は明治四十一年一月同校に奉職以來正に滿十週年に相當するを以て

△同校出身者 は相謀りて昨年十月頃より該記念事業を計畫し二十四日午前十時同校講堂に於て十週年記念謝恩式を擧行したるが當日の來賓は農商工部長官代理綾田技師を始めとし中尾東山農場主任、近藤同校組合管理者名、同校職員

△勸業模範場 關係職員二十餘名にして主人側の卒業生は外に參列者と水原在住各地に於ける同校關係諸氏及び卒業生より四十餘通の祝電到來し一層の光彩を添へ同十二時閉式後

△記念撮影を なし別室に於て祝賀宴を催し頗る盛況を呈したり因に同校長に贈りたる記念品は卒業生及び現在生徒の各自の氏名を記付けたる額面と同校長の肖像畫等なり

◎本田幸介博士＝水原校長十年勤續記念式を受けたる

慶北沿岸大荒れ

二十四日夜來の暴風雨にて　漁船廿四隻難破＝被害多し

慶北沿岸にては二十四日夜より風波激しく難破船等少からざる見込なるが慶州郡甘浦內のみにても二十四日午後八時頃より翌二十五日午前五時頃迄の間に港內碇泊中の漁船にして激浪の爲め翻弄され難破したるもの打瀨網二十三隻に達し內十三隻は到底使用し得ざる迄に破碎され漁網船一隻も粉碎されしが此の損害は船體約一萬一千八百圓、同じく漁具四千三百七十圓に達すべしと而して乘組漁夫の行方不明となりしもの內地人一名、鮮人四名あり負傷したるもの內地人二名朝鮮人一名ありたる旨慶北警務部より警務總監部に電報ありたり

滿洲暴風

海上に被害あり

廿四日以來の暴風は廿五日に至り徐々甚だしく大連に於ての風速は一秒三十五米を算し市內及び海上に多少の被害あり各地の風速は旅順が一秒に二十四米營口亦一秒の風速二十四米あり奉天は多少緩かにして一秒十三米なるも長春は一秒二十米の風速にて哈爾賓は更に三十六米の一秒の速也（大連特電）

（寫眞は井上天弦氏と橫井夫人及令孃）

櫻の國を憧憬れて

日本人を夫にもつ橫井ブラガ夫人

[illegible]

豪奢な成金振りに

札ビラ切つた亞米利加人のお大名＝旅行の觀光が滅切り減つて

露西亞の避難民が續々來る

國籍別＝から見た朝鮮ホテルのお客

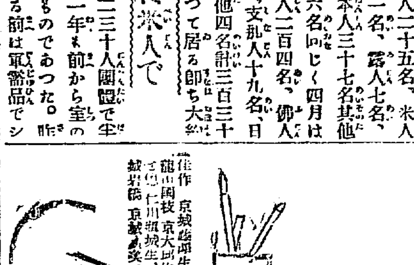
內地の櫻の蕾が膨らむ三月の中旬過ぎから四月一杯に掛けて觀光の外人客が隊を作つてやつて來る之等の漫遊客は內地を觀て馬關から

◇朝鮮に渡つて 見物し北京へ廻つて上海に出で再び長崎に上陸して歸る者又は其反對を行く者等が非常な多數に上つて例年京城でも此頃から朝鮮ホテルは大繁昌で室が全部賣切れて了ふ有樣であるが本年は時局の影響を受けて觀光客らしい姿も見ない今朝鮮ホテルに就て昨年三月中に於て往來した

◇旅客の國籍調 をして見ると英人二十五名、米人百七十名、佛人一名、露人七名、支那人七名、日本人三十七名其他九名計二百五十六名、同じく四月は英人十三名、米人二百四名、佛人五名、露人三名、支那人十九名、日本人八十四名其他四名計三百三十二名の多數に上つて居る即ち大約

◇七割は米人で あるそして大抵二三十人團體で半歲も中には殆ど一年も前から室の註文をして來たものであつた。昨年米國が參戰する前は戰爭品でシコタマ儲けた戰爭成金が盛に金を撒いて歸つたが參戰以來米國では觀光客の渡航免狀の取締が非常に嚴重になつた爲めか本年は觀光季節に入りながら

◇一寸も申込が 無い、其代り今迄殆どなかつた露西亞人が頻りに來たが蓋し之等は避難客であらう、又一方日本人の旅客は非常に增加して昨今一箇月八九十人の多數を示した是れは商取引殊に大きな取引關係の商人は自己の信用上一大旅館に泊る必要があるからださうでそれ等の關係から觀光客は減じても平均旅客數は增加の趨勢にあるのでホテルの景氣は甚だよい然し物價騰貴で材料が不廉くて思つた程儲からぬさうだ。



讀者文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）

△俳句
○筆立と封筒と卷紙（一等）　京城　芳南

（作者 京城醫學生、京城天水生、廣州郡寓、龍山國技、京大同佐々木、廣州命題、仁川寸寸生、仁川紅城生、京城永江、烏致院滿方直、城岩陽、京城義英、弥報つれよ、丁執武代子）

課題及募集規定

募集規程 ▲用紙は端書叉は同形の用紙一枚毎に雅號叉は其外に住所氏名明記の事▲一等

◎農林學校卒業式　朝鮮總督府農林學校にては來る二十八日午前十時第十一回卒業式を擧行すべし

◎總督府給仕募集　總督府にては年齡十四五歲以上の學力を有し京城府中に住居し確實なる身元保證人あるものを採用する由志望者は自筆の履歷書を携帶し府受付に出頭すべし

◎首を絞めて　福島縣伊達郡生れ京城本町三丁目居住野村藤右衞門（四五）は知人某が黃金町一丁目の黃銅細工場に[illegible]

◎火事　二十四日午後八時十五分頃京城唐珠洞百五十一番地李俊相方煙突の破れ目より發火し屋根を燒失して同八時四十分鎭火▲同日午前五時頃孝子洞百五番地張行源方より發火屋根を燒きて間もなく鎭火何れも常備消防出動せり

商況

東京期米特電　兵庫期米　大阪株式特電　大阪三品特電　大阪期米特電　下關期米特電　雜報

◎三品は不勢　◎大豆小締る　◎毛斯綸續騰　◎製粉依然氣迷　◎砂糖在荷拂底　◎鮮白引緒漸騰　◎正米睨合ひ

◎金巾氣見送り　◎織物弁鑑調　一般織物は更に强　糸高毎に氣配ポ

仁川米豆取引所仲買人　伸買店　電話二八二長二八三　電略シ又はカクシ

南大門の廻穀　仁川正米　釜山穀物（廿五日）　仁川期米　仁川取引所

株式會社仁川米豆取引所仲買人　全高田仲買店　仁川港仲町三丁目　電話長一〇〇　振替三八一　電話長一一九

馬鈴薯　種子食用　長崎赤に限る　多數御入用の方は至急御照會を乞ふ　大田本町一丁目　本田支店

叺繩莚 穀物叺石炭叺及荷造用莚各種 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二番

市場雜觀　下關相場　小賣白米　白米標準値

大阪期米　二十六日後場

●七年振りに洋装を解て

●露都より歸れる日本婦人●

◆膝頭を撫し●

●小畑ます子さんは語りて曰く●

露都から歸つて來た小畑ます子さんを姉なる人の嫁げる林氏の宅に訪ねる所は松林里日本醬油會社構内の社宅雨合の空に柔らかな春の光りが庭の櫻の濡れ枝に膨らみかけた芽を撫で丶居る刺を通ずると林婦人は慇懃に迎へて淀る丶愛嬢を搭へ乍ら妹の爲めに先づ自から語る「一度仁川に居た事もありますのですがもう

◆古い昔の事で

斯んな處がありました●

なんて云つて居る位ゐです一時の間に世の中は餘程變るものと見わます私共の故郷は大分の臼杵で谷合の樣な山の中に生れたのですが私の弟が浦鹽に居ますので妹は直ぐに浦鹽の弟の所へ行つたのです其まゝ露都の方へ行く樣な都合になりましたので一應內地に歸りまして其れから今度はほんとに大方十年振り計りに此の仁川で會つたのです」婦人が恁んな話を續け

◆反らさぬ應對

なして居る間に本尊の●

ます子さんは次の間から出て來て人馴れた挨拶を交はす「女ですから何事も存じませんのですもの」先づ謙遜の容姿を見せて聞らの座布團を無造作に敷き込む久しく洋裝で馴らされた膝に七年振りの日本服其の著こなしも何んだか妙に洋行歸へりを思はる丶紫紺梳縁を染め出した

◆襦袢の襟さへ

久しく馴れぬ装ひが見ゆ●

日本の女を彩るに無くてならぬ巾廣の帶は殊に窮屈さうに細帶に代へられて居る、春雨の窓、風も通さね庭に硝子戸は開け放されて居る『姉さん失禮ですが私寒い樣ですから戸を締めきして戴きませうか』北の西伯利亞の彼方から七年振りに歸つた婦人朝鮮の此の春めいた暖かさに寒いとは合點が行かぬ寒さは餘程彼方は寒いのですが

◆室内の設備か

恁んな不完全なものでは●

ありませんから今はこんなに著物を厚く著て居ますけれど彼方では室內は暖房裝置が完全でないと宜けませんの薄著でなければ居れません家屋の建築其ものが立派で隙間風なんてそれこそ一つもありませんだから歸つて參りますと却て非常に寒さを感じますのです彼方で此樣だと直ぐに風を引きますそれに服がスウ〳〵するものですから

◆今日迄七年間

行つて歸る迄一度だつて

日本服は纒ひません外出する時などは勿論あちらの服でないと一歩も出る譯に參りませんのです夜寢みます時に寢卷を著る位ゐの事です露西亞人はそれは〳〵人見知りくて、そしてズウ〳〵しくて困ります私共が日本服でも著て外出しようものならそれこそ通り拔けが出來ぬ程周圍に人だかりがするでせうそれに彼等は

◆皆無遠慮に

側から〳〵前から〳〵覗き込むのです到底日本のお方の眞似の出來る事ぢやありません私共に限らず日本から行かれた人で一寸嫌に感じられるのは彼方の者は皆日本人を見ると支那人〳〵と云ふ事です幾ら云つて聞かしても矢張り支那人と云つて決して私共を日本人だとは申しません如何に何ぞつて支那人と云はれるのはほんとに嫌な事ですからネ」

檣の林

◇仁川港内の殷盛

●殷賑なるペスト騒ぎ●停留戎克船數十隻に及ぶ●

山東のペスト發生以來仁川の港の檢疫は嚴重に施行されて居る、昨今月尾島外の檢疫所前面には停留されたる戎克船の數は實に數十隻に達して時ならぬ帆檣林立の光景であるが更らに停留期間を經過して解放されたる戎克船の內港接陸を待しつゝある者も亦數十隻に昇り一帶の檣檣には

◆檣頭

高く揭げた一旒の船旗が輕ろく風に靡いて港の春を物語つて居る萬國の輸入さるるものは一日實に數千噸例年三月になると戎克船の入港は實に夥しい數に昇るのであるが本年の春は又例年に增して入港數を增加して居る而もそれが山東のペスト發生地に近い石島及び俚島から多く入港するので時節柄仁川の

◆危險

も多い譯で之が防疫には係官は最善の力を盡して居る出張規定の停留を命ずる戎克は十隻以上に昇りそれが五日間の停留を經て港口荷揚げを行ふので最近の月尾島前の檣影と海岸附近の殷盛は珍らしい程の狀況を呈して居る檢疫所の方では又此の戎克船を取締る爲めに每日停船場に見張りを置き港務官は一日一回必ず戎克船を各別に視察して其の乘組員其他の

◆健康

狀態に就て注意を怠れぬのである過日江原丸が入港した際には規定に依つて黃硫燻蒸を行した處船中から十數匹の鼠が出たと斯の如くして其の取締は最も嚴重に行はれて居る三月の仁川港は斯くて相變に春らしい狀況を呈ふて居る

露都引揚げ 間際の光景

◆金髮美人を新嫁として

●歸朝したる小野副總裁の令息●

露國引揚の一行と共に歸朝の途中にある日本勸業銀行副總裁小野英二郎氏令息俊一氏はアンナ夫人（露國人）を伴ひ大連まで躍つて來たがアンナ夫人とは結婚後間も無き事とて入籍の手續が濟んで居らぬ爲め

入國令に抵觸し

●內地へ歸ることが出來ず●

大連ヤマトホテルに投宿し其手續中であつたが廿三日に至り漸く大連露國總領事の證明を得て內地に航する事を得る事となり二十四日出帆のハルビン丸に搭乘し久しぶりの愛しき旅より漸く和氣藹々たる新婚の樂しき旅程を經て內地に引揚ぐる事となつた小野俊一氏は東京帝國大學理科大學卒業後ペトログラード及びモスクワ大學等に於て前後五年間動物學の研究を續け學位論文起草中であつたが今回愈々狀況の切迫と共に已むを得ず引揚ぐる事となつた、これより前き昨年露都革命勃發前小野氏は恩師

大學教授の令嬢に

●驚かせられ結婚が延期なる●

令孃の想ひは遂に堅き小野氏の心を動かし父副總裁の許諾を得て昨年露都に於て華燭の典を揚げた、これが今回小野氏と共に露都を引揚げて來た花の如きアンナ夫人である小野氏は五年間露國に在り又た露國貴族の家庭內に生活し學生時代に交り廣く傾る露西亞上下の事情に精通し其の語る處亦幾多の露國歸客の談に比し頗る異彩に富めり氏の談に曰く『私が露國を引揚げたのは先月の廿七日の夜でした此より四日前即ち廿三日に我が少將一行の引揚團は米國人の引揚團と共に特別列車を仕立てゝ露都を出發したが私共は妻や妻の家庭の都合上三日間後れて金曜日發の普通急行列車に搭乘する事に成りました露都の狀況は必ずしも我々が引揚げなければ

成らぬ程に切迫

●して居りませんでした

然しながら獨逸軍は既にペトログラード間近かく押寄せ其の勢力は何時にてもペトログラードを蹂躙するに足るものであります然して居た爲めに萬一獨逸の捕虜にでも成りては單に自分一己のみならず國家及び幾多の人々の迷惑となる事故私共も人々と共に引揚げと決した次第であります（未完）

牛が高いので 馬の賣買旺盛

●朝鮮馬が百圓

●小農は牛の代りに農馬を持て困却す●

近時平安南道に於ては朝鮮馬の賣買殊に盛んとなり從來の慣習として農閑期に生牛を賣放ちたる者も亦春耕期に至りて更に之を購入する事を常とせるもの今春は牛價は昨年に比し約三倍の騰貴を示したるのみならず生牛を手放すもの夥しき結果小農者には到底購入の途なく遂に朝鮮馬を以て生牛に代用するの已むを得ざる狀態となり價百圓を下らざる有樣となりそれにても猶拂底にして小農者の如きも困難しつゝあり春耕期を目前に控へたる今日なりと（平壤）

平南名物の牛 何の位出るか

平安南道に於ける大正六年下半期中の牛輸移出入を見るに仕向地別は黃海道、平安北道、咸鏡南道、慶尙南北道、忠淸南道、下關、安東縣等にして主として試驗的の輸出を試みるに過ぎざれども移出數十四百一頭の價額二十萬一千二百十二頭を算し輸入に通過する二十三頭金額四萬八千三百四十四圓にして生牛の種類は役用牛二千三百七十四頭食肉用として八百二十三頭種用牛三百五頭の順位なりと（平壤）

◎在郷軍人會の抱負と責務に就て

永沼陸軍中將談

●滿洲在郷軍人會本部長永沼中將は二十三日午前旅順より來連午後七時より大連青年會館に於て在鄉軍人及び一般青年の爲め講演會を開きたり中將の談に曰く

今回の旅行は滿鮮各地の帝國在鄉軍人會各分會を巡廻して我平常抱懷する處の主義の宣傳を爲す豫定なりしが或は日程の都合上朝鮮に立寄らざるやも知れず予は日露戰役後初めて滿洲に渡來し當年の戰跡を巡視するに當り千萬無量の感慨禁じ難きものありとて（中將は日露戰役當時前朝鮮駐劄軍司令官秋山大將の部下として騎兵挺進隊の先鋒となり東部蒙古より深く敵地に侵入したる猛將にして永沼挺進隊の雷名を轟かしたる也）鄭家屯及び新開河附近は當時予の部下が敵地深く突入して壯烈鬼神を哭せしむる底の勇敢なる戰死を遂げたる處にして今回は是非戰跡を弔ひ當年を追懷し部下の忠魂を弔慰する考へなり予が軍人會理事として此の方面に身を投じたるは敢て他より推薦せられたるにも非ず又帝國在鄉軍人會より懇請せられたる譯にてもなく全く予の信ずる處に由つて入會し聊か我が抱負を實行し我が在鄉軍人及び一般青年の爲めに盡力する決心なり歐洲の戰亂は世界各國民に多大の思潮を湧起せしめ或る者は平和主義に、或る者は民主主義に、或る者は極端なる民主主義となり共和主義となり及び民主主義の米國及び英國が軍國主義に化したる如きあり兎に角我國民族思想の動搖甚だしく我が國に於ても此の際國民思想の向ふ所を定め其の歸趨を誤る事無からしむるは我々の責任ある義務なりと信ず近來內地に於ては內務省の訓令に據りて設けられたる青年會と相俟ちて在鄉軍人會も著々好成績を擧げつゝあり其の成績亦大いに見るべきものあれども植民地は種々の關係上在鄉軍人會の成績思はしからず殊に大連に於て甚だ振はざる由に聞及べり此には幾多の事情存在すべきも予は勉めて此の情弊を除き在鄉軍人會が民間に下りて再び軍隊の階級のみに由る團體なりと云ふ因はれたる解釋を一掃し極めて圓滿にして且つ親誠報國的眞個の軍人會たらしめん事を勗せり

鮮人掏摸

◎油斷のならぬ

●內地人婦人を突倒す●

仁川府花町住箕松里七番地飴製造業張應奴（三二）といふは表面飴の行商をなして其實掏摸を本業とする曲者である去る三月十三日午前十時頃仁川府花町に於て[illegible]面白い文句を並べて折から藥商人が集めて居るのを見て多數の人の中に紛れ込み鮮人の所持する金三圓六十錢入りの懷中物を掏取り、後四時頃新町の鮮人市場で內地婦人の肩の藥を買ひに來て居た內地婦人の布財金一圓八十錢を手初めに本月十四日午後二時頃同所で鮮人の喧嘩があつた際を窺ひ、群集中の現金を使つて財布は寺町の共同便所に投棄し又十七日には牛黑皮製の金入現金三圓二十錢をた事人だかりがしてゐる鮮人のポケットから掏取して金入は朝鮮銀行前のアカシヤ林へ投げ込み十八日午後四時頃仁川府の藥種商の[illegible]

◎電信法違反處罰

大阪

仁川府の仲介業者へ電信を[illegible]新町の鮮人市場で新町三丁目二十三番地[illegible]は時々偽名をつくりて[illegible]一人で取り扱ひ[illegible]二十日逮捕された[illegible]

賄賂を突き返す

京城府[illegible]長[illegible]は去る十二日[illegible]

強盜團長就縛

頭目は支那人

昨年十一月二十七日夜十二時頃平安北道楚山郡[illegible]江上流に於て支那人[illegible]小銃、拳銃等の兇器を携へ鮮人四名を脅迫し金百二十三圓を強奪逃走し平北地方に入込みたる形跡あるより過日來より警察官憲兵分隊にては搜索隊を編成し大活動を開始せし結果遂に本月上旬頭目山東生れ長土山洞下漏に於て頭目を逮捕し引續き搜査中

台所 その月

◇牛鍋割下汁の方

牛肉鍋なぞの割下汁は何か如して拵へるか、普通の家庭の割下汁は先づ醬油[illegible]砂糖小匙一杯、味醂小匙一杯[illegible]合せて[illegible]タップ三勺[illegible]ますタップの代りに[illegible]すますタップの代りに鰹節の煮出汁でもよろしうございます

星印ソース

今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる

本品は其品質に於てソース界の明星なり

全國到る處の洋食料品雜貨店にて販賣す

發賣元 大阪市 祭原伊太郎

◎質

◎借家探し

◎多額の融通

京城本町二丁目元町

大塚質店

池坊生花大會

來る三月廿七日廿八日兩日間南山東本願寺に於て故武藤松翁七回年忌追善並ニ春季總會開催

觀覽御隨意

主催 池坊華友會

菓子職人入用

四名 至急

平壤南門通 井上日韓堂

南滿洲鐵道株式會社 大連醫院

看護婦生徒募集

一、募集人員 拾五名

詳細は本院に就き承合せらるべし

大正七年三月

大募集

自動車學校

京城南大門通

產科 婦人科

京城壽町 電話一二〇一番

二宮醫院

醫學士 二宮亮吉

◎疑ひ深い人は儲からぬ＝事實が之れを證明する▲

百圓の資本で一ヶ月二十二割利益

内外科 小兒科 花柳病

京城本町二丁目 電話二一六番

高井醫院

院長 高井貞治

副院長 醫學士 松崎正彦

大好評

日蓮上人

二十八日限り絶對に日延不仕候間御見落しなく御早來願上候

◎二度と見られぬ

◎他で見られぬ

◎又と撮影出來ぬ

雨天にもかゝはらず每夜滿員

黃金館

◎製造開始

食パンとアンパン

技術と品質は優良

是非他店のパンと御試食を乞ふ

開業祝として二十七日より三日間二割引

京城永樂町二丁目（本町角） 吉武神戸屋 電話四二九番

京城南山町三丁目（電氣會社橫路入る）電話二九二〇番

橋本齒科醫院

日本齒科醫學士 橋本清次郎

在庫品賣却廣告

コンパン、コンデンシック

蒸氣機械

高壓汽罐

低壓汽罐

衛生直徑

振車馬力

實價附屬品

右安價を以て賣却致度候間御入用の御方は御來談又は御一報被下度候

平壤大和町

山中商店

賜天覽

福助足袋

名實共に日本一

年產額 一千萬足

仁川米

△二十六日後場

大阪止め小高く後場未著にして當限は中二十二圓〆三錢より二錢先

後場富限出來不申

▲中限一節二十二圓〆三錢二錢平均値段〆三錢

▲先限一節二十一圓九十七錢六錢五錢六錢五錢六錢五錢四錢二節九

二十六日の五大限

後場

寄付 二十一圓九十七錢

高値 二十一圓九十三錢

安値 二十一圓九十二錢

▲廣告料金

一行に付 十錢

見逃告者には五十錢曾を呈す

京城日報社

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第二十七席

塚原小太郎月影に透して見れば年頃は二八餘り花も羞らふばかりの都少女、小『唯今申す通り此方は決して怪しい者でない通り懸りに其女の一命を取止るといふも佛家で申す他生の縁、包まず仔細を申せ』と訪ねると右の婦人が　婦『ハイお恥かしうございますが其れではお仰せに從ひましてお話をいたします、私は國江州で生れましたもの父は佐々木家に仕へました下國佐太夫と申します者でございますが冤罪で浪人をいたしまして京都の知己を賴りましたが今は其れも力にはならず、其上眼病に罹りまして只今は妙覺寺の門前に佗しいを泣いて賴みましたが何うしても肯入ず、強て承知をしなければ身代金を綺麗に返した上で歸れと申します、身代金と申してさのみ大金でもございませんが父の藥代やら今迄の不義理のお拂ひやらに遣つて了ひまして今となつては少しの財へもなく、父に話をいたしましたとて病中といひ其日の事も斷々の身上苦勞を懸けるだけ無駄なこと、といつて外に思案もつかず一日延しに延ばして居りましたが何をいふにも岩成樣の勢ひで毎日の口催促主人も承知した以上は岩成樣の方へお渡し申さねば濟まぬから愈々明日は手足を縛つて連れ

て行くと申します、妾も思ひに餘りまして此上は死んでこの苦しみを逃れるより外はないと今宵少し見張りの者が油斷をして居りましたを幸ひに若狹屋を脱出しましてせめて生前に一度父に遇ひたいとこゝまで參りましたが、なまじ遇つては未練のたねと只今此處から身を投げようとした次第でございます』と言了るさへ泪聲小太郎も思はず涙に暮れ　小『聞けば聞くほど氣の毒千萬、女の操は大切なもの生命に代へて之れを汚すまいとする心底失禮ながら感服いたす、併し聞けば父上も御病中とか今其女が死んでは誰が父上の死水を取生活をいたして居ります、妾も其日の生活にも困ります處からお恥かしい次第でございますが木屋町の若狹屋と申す內に勤め奉公をいたすやうになりまして、操こそ汚しませんが遊女の卑しい勤めをして居ります　小『フム其れは氣の毒な身の上………』　婦『處が若狹屋の主人が非道な人でございまして其れは〳〵申上るも泪の出るほど辛い目にも遇ひきしたがつい此頃から一のお客としてお出になるのは柳の馬場にお屋敷のある岩成主税之介といふ御方、三好の三黨と申しまして飛鳥も落ちるやうな勢ひ、何うした事か妾の姿を見て是非妾にしたい差出せとのお言葉主人も此上ない出世と申して妾にも話しなくお受をして了つたさうで妾はたとへ此の身の出世になればとて操を汚しては先祖へも申し譯なし之れぱかりは免して下さいる外に賴りもない老年の父親たつた一人の娘が先立つたと聞かれたなら其歎きは何程であるか、此上もない不孝の罪を犯すではないか若い女の狹い心中無理はないが決して不心得をしてはならん、岩成が何と申せばとて主人が何といへばとて多寡が金錢で濟む事心配に及ばん、拙者が萬事引受け懸合つて遣はす、兎も角も往來では人目もあり面倒であるから其女の父上の御住居まで同道いたし、御目にかゝつて、萬事の御相談をいたさう』と親切な小太郎の言葉に、娘の喜び一方ならず　娘『御親切なお言葉に甘へまして其れでは實家へ』と小太郎は笑つて此儘娘を先に立て程遠からぬ扇川妙覺寺門前通り北へ入下國佐太夫の住居を訪れる、下國佐太夫は兩眼不自由でありますが月の光りを浴びて戶口に出で何か物思ひに沈んで居ります、娘は門口へ走入り　娘『お父樣』と聲を懸ける。

人參王丰（ツ）　京城本町壹・電話一四八〇・一八七〇〇番　津村兄弟商會

ほん物の義士廼家來る

喜劇義士廼家　連鎖劇女優團　大合同

當る四月二日後五時開演

三月卅一日後九時京城着　四月一日前九時町廻り

壽座

三月廿八日九星　舊二月十六日甲戌

本命五黃八方危大安　諸事主義の事有日新事見合市方は吉　△五黃●仕合よき日轉居入學金件名勝敷なし△六白●造船婚禮祭事吉△七赤●弘まの日轉居開業等萬吉女子の思はぬ幸福を得る△八白●附込みある事有日新事犬吉詳の日也△九紫●萬調手控へ事は吉保證連帶等を禁ず　旅行の日轉居開業入門名弘金件求　讃探　誂物　新製　錦菜等萬吉△一白　あやふやな事有日新事手控へ事は吉萬入念せらるべし△二黑●他の爲を蒙て仇とならんとす注意新事手控常の事は吉△三碧●折合のつかぬ事有日新事手控へ事は吉買物仕入に用心の事△四綠●不運の日午前不用午後は吉新事手控へ事は吉

演藝案內

有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　米國ユニヴアーサル會社特約　電話(附上)五九七番(附下)三〇五番

當る三月二十日より公開　米國ユニバアサル社特作　連續五十四號〇滑稽下宿人

○人情劇孤兒の生涯　全五卷　(以下細字)

黃金館　電話二六三七・二六六

○三月二十二日より引續き特選大寫眞公開　滑稽ジム君の雄弁志願　フク〳〵の親玉滑稽大活劇　チャップリンの爆彈投　全二卷　從來有りふれたるチヤツプリン先生の落語さ違ひ天活會社今回新輸入の此のチヤツプリンの如何に大滑稽なる事かは容易に語り盡さるべき同國イタラ會社作　▲活劇　死の前　全三卷　▲新派喜劇　日本國刺齒　天活新規撮影　▲史劇　日蓮上人御一代記　全三卷

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

○大阪娘義太夫　本若千代一座　六日目語りもの(三月二十六日)

▲御祝儀資の入舟(入登)▲石川五右衛門釜入の段(春子)▲安達ヶ原三段目袖萩祭文の段(光三)▲白石噺七つ目揚屋の段(國八)▲日吉丸三段目小牧山城中の段(源吾)▲朝顏日記四段目宿屋の段(龍光)▲御所櫻三段目辨慶上使の段(巖治)▲三勝半七酒屋の段(若千代)

入場料大勉強特等の外廿錢均一

大正館　櫻井町　電話八七三番

○三月廿二日より大寫眞提供　○新派悲劇　ひな鳥　全三卷　○最終編　鐵の爪　十五十六編　(以下細字)

壽館　京城本町　電話一〇五〇番

浪界新斗京山圓玉一行開演　當る三月二十六日初回　▲塚原小太郎(京山小玉)▲寬水御前試合(無相軒富士丸)▲兩面太一召集(桃中軒富士衛門)▲義烈百傑(東家淡月)▲京山圓玉▲水戶黃門記　▲大華)▲直次郎妻子別　▲餘興落語踊　入場料一等金三十錢二等二十錢三等十錢

月經　滿鮮新藥レスリン

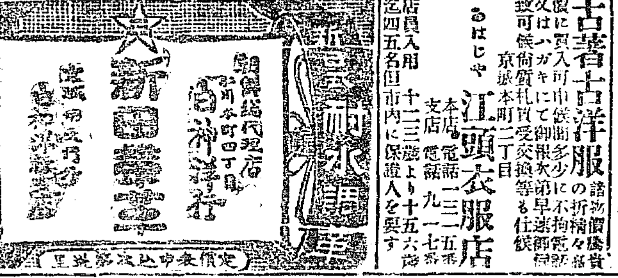
閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て容易く目的を遂し得られ他藥に優越せる効果を有す　藥價一瓶金圓壯錢(內地一錢、海外卅錢)切手添申越進呈說明書　三〇地發行所　大阪北區曾根崎上一丁目　常盤藥院

てんかん

病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れば永年の病も自宅でヒミツに治す事の詳しい本を無代進呈す　名古屋市南小川町一　救生館

陸軍拂下

袴、靴下手袋被服一切　並に諸官衙拂下品　京城府漢江通三電話長三三六番　佐藤古着店



(大口後邊)　黃金町長橋町入口　電話一二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

西村興太郎著　會話精通　定價一圓三十錢　京城日報社代理部　京城本町通一丁目　振替京城三〇〇番

天下一品　 　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九番

古著古洋服

諸物價騰貴の折柄に多少不拘勉強御買入可申候　假に質札にて御買受交換等も早速御伺可致候　又はハガキにて御報次第　京城本町二丁目　江頭古服店　本店電話一三二五番　支店電話九一七番

るはじや　店員入用　十二三歲より十五六迄四五名　但市內に保證人を要す

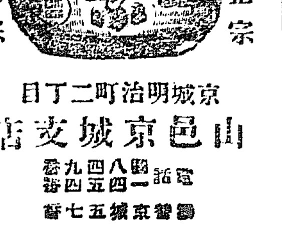
慢性りん病

石炭酸よ尿　組織を誘導して腐爛せる贅肉を消滅し尿道及膀胱の粘膜に潰瘍を生ずる淋病に對し劇烈なる殺菌力を有し浸潤性及び淋毒性の諸症を治す速效と作用の迅速なる他の類似藥に比し特長を有する特效藥　性用參園　大阪市南區櫻川四丁目　藥劑師　淺田藥局

外科　內科　小兒科　皮膚科　花柳病

京城旭町一丁目(本町通り左に入る)　島崎病院　電話二七三六番　入院隨意　診察夜九時迄　院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一

比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗



京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話八四一・四九五・九四四番　振替京城五七番

眼科專門

入院隨意　京城明治町東拓橫(電話二〇四四番)　江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

京城日報
二十七日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一ケ月金五十錢　前金三ケ月分金壹圓五十錢
廣告料金　五號活字一行金二十五錢　四號活字一行金四十錢
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話番號　二四〇　一二四〇　六〇〇〇　振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

遊支偶錄

蘇峰生

(六五)道教の天下

支那は實際に於て、道教の天下たるを見る。一寸支那を覗いたる者にも分明也。儒教は治者階級少數者の教にして、然もそれさへ實際は覺束なく、唯だ看板に過ぎず。佛教も寧ろ曾て上流社會の一部に行はれたる迄にして、遂ひに國民的宗教たるに到らず。其の强ひて國民的宗教の名を、僭す可きものを求めば、道教に若くはなかる可し。道教の範圍は、老君の淸淨無爲的訓言より、乃至錬丹の法、房中の術、若しくは紫霞元君、娘々廟に至る迄、極めて廣大無邊にして、上は一天萬乘の帝王より、下は閭巷の小民に及ぶ。其の支那を席捲したるも、偶然にあらず。予曾て未來の安樂を豫約する佛教よりも、現在の福利を授與する道教が、支那の民性に適恰すと言ふものは、蓋し竊かに破的の言と信ず。然も若し支那の國民性が、道教によりて陶冶せられたりと云はゞ、そは原因と結果とを、取り違へたる者ならむ。何となれば道教支那人を作らず、支那人道教を作りたれば也。固より其の作りたる道教の爲めに、支那の國民性も、必らず多少の影響を受けたるならむ。されど極言すれば、支那人ありての道教にして、道教ありての支那人にあらず。吾人は寧ろ道教其物に於て、支那國民性の活ける縮圖を見るの感なくんばあらず。

佛教と道教とは、今日の所、犬と猿との關係にあらず。少しく念の入りたる葬式には、僧侶の一隊と、道士の一隊と、互ひに相ひ伴隨す。予は親しく濟南に於て、之を見たり。而して道教が佛教の經典を剽竊し、佛教が道教の綱張りたる武廟—關帝廟—を、我物顔に占領するが如き、兩者の間に錯綜したる關係あるは、指摘する迄もなし。

宋以後の繪畫（七）

於京城俱樂部　今關天彭氏講演

花鳥（承前）

明の花鳥畫は、先邊文進、呂紀を舉げる。この二人の如きは、黃氏體を祖述して更に一機軸を出した。即ち邊文進は寫生を主とし葉の正面反面の有樣に意を用ひ、そして彩色に苦心を凝らし、其上鈎勒するのに筆法を以てし、また墨色にもカナリ注意した。呂紀は鶴や孔雀に配合させるのに、美しい花樹を以てし、その樹法は浙派の用筆法に似て居るところがある。當時流行の山水畫に於ける用筆用墨の法が、いかに花鳥畫に影響したかが思ひやられる。これ等より出る工麗なるものゝ外に、沈石田や王問輩のやうな簡易な書き方をする人も多い。また林良と云ふ人は水墨で花鳥を畫き筆力雄勁にして草畫の如しと云はれて居るので、この人を花鳥に於ける寫意派の元祖となすものがある。この寫意派には陳淳(道復)と云ふ人が有名である。またこれ等より後れて花を勾勒法で畫き、葉を書法で畫く勾花點葉體の一派が起つた。これは黃氏體の勾勒法と水墨を用ひて意を寫す法とを折衷して出來たので、その代表者に周之冕がある。これから淸代常州派が出るのである。

さて淸朝となると明代から引繼いだ畫風が流行し、黃氏の鈎勒派あり、寫生に進んだ派もあつた。淸代花鳥家の大家四王吳惲の惲たる惲壽平(南田)は實に徐氏體から變化した純沒骨派の最も寫生に意を注いだ人である。この人は淸代畫界の特色なる寫生の正派と稱せられその派を指して常州派と云ふのである。惲壽平より些しく前に出た人に王武(忘庵)があり、些しく後れて出た人に蔣廷錫(南沙)がある。また小山畫譜の作者、百花卷の筆者として名高い鄒一桂が出た。但しこの百花卷は、花と葉の書き方、繪具の使ひ方は全く西洋畫の影響があるのであつて、その畫き方は石繪具で花片を作り、その上へ淡い繪具を引くから、石繪具が細の上に高く出て、甚だ美しく見ゐるのである。西洋畫法の影響を受けたに就いて最も注意を要すべき人は康熙の畫院に居た焦秉貞である。桐陰論畫にこの人の畫を記して、工みに花卉を寫し、精妙絶倫なるが、蓋し西洋の法なり。精細なること界譜の如く、偃仰凹凸、陰陽向背、直ちに造化と功を同じくす。國初以來の第一人なりとある。是れによつて考ふると、この人の畫風は餘程淸代の花鳥畫に影響を與へたのである。淸末になると趙之謙といふ人が出た。この人は古來の法則を無視して、純然たる印象派の畫を畫いて居るので注目に値ひするのである。また現存の吳昌碩は、篆隸に巧みなところから、篆隸で花鳥を畫き、著色は色彩の濃かなものを使ひ、筆力と墨色と彩色との外、その隱かめいた隱鬱らしい思想を畫上に遺憾なく發揮して居る。この畫は諸君も疾くに御熟知の事と思ふ。

また我國で忘れられぬのは、沈詮(南蘋)である。この人の畫風は勾花點葉派の寫生に重きを置き、長崎に二三年遊んで居つたので、その影響が熊斐や宋紫石となり、北に應擧によつて日本化せられた。張辛(秋谷)も無論この派の一人である。要するに花鳥畫は唐に始まり、宋の徐黃によつて大成し、徽宗時代に流行の最絶頂となり、一轉して明朝の中葉比から一變化を見、更に淸朝に至つて西洋畫法の影響を受けて寫生派となり、最近に至るまで名手輩出して、西洋に暗示せられた。

山水花鳥の外人物畫として明から流行の傾向ある風俗畫、美人畫若しくは墨蘭とて水墨で畫く四君子などのいろ〳〵あつて、みなそれ〳〵に就いて系統があるのであるが、總て割愛して今夕はこれで終りとする。

日報詩壇

春日田家

家在城南一小村。人醉常少鳥聲喧。暖風醺日花濃淡。雞戲庭沙犬守門。

評曰、石湖遺型、

豆腐　小永井槐陰

淮南月色冷於冰。一掬銀盤影更澄。眞味何人能喫了。少林寺裏破禪僧。

評曰、淸韻孤峭、不落平衍、

九州視察團—團體種別

◎福岡市開催　九州沖繩物産共進會視察
◎久留米市開催　全國發明品博覽會見學

朝鮮、九州兩鐵道局格別の贊助に依りて主催兩社は從來比類なき理想的團體を編成實行する事となれり

福岡縣人團
京仁在住の福岡縣人諸君にして歸省を主とし福岡共進會、久留米博覽會視察の外九州週遊の要なく自宅、親戚、知友等あり旅館宿泊の必要なき諸氏は往途博多驛下車一時解散、歸途博多驛乘車合同豐州線耶馬溪漫遊、別府二泊溫泉浴、大分視察等を加へ
◎會費　金四拾圓
を申受く多數同縣人參加を俟つ

大分縣人團
京仁在住大分縣人諸君にして福岡共進會視察の外九州週遊の要なく豐州沿線に歸省する諸氏の便宜を圖り大分縣人團を組織
◎會費　金五拾圓
とし十九日朝福岡に本隊と分離各歸省等自由行動（其間は經費自辨）廿四日中津又は別府の兩所にて再び本隊と合し耶馬溪漫遊別府溫泉浴を共にして歸鮮す

全鮮地方團
京仁團以外九州週遊視察團に西鮮、湖南、南鮮の各要地より參加せらるゝ諸氏の便宜を圖り京仁團會費八十圓を標準として汽車賃を增減したる會費
◎西鮮團（平壤發著）八十五圓
◎湖南團（大田發著）七十九圓
◎南鮮團（釜山發著）七十七圓
と規定す各地よりの參加諸君は主催兩社又は支局宛申込みあれ

婦人團
今回の視察團は御希望に依り日鮮婦人の參加を歡迎す（但し夫妻、親子、兄妹等の關係責任ある保護者の同行を必要條件とす）會費行程等は勿論男子團と同一也

御注意
※※※※
但し左記特種便宜の福岡大分縣人及び地方人三團體の何れも參加者廿名以上と云ふ朝鮮九州兩鐵道局の條件があり升

此理想的團體の發表は一般の贊同を得て會員早くも半數に達す申込期四月五日！最好機會を逸せらるな

主催　京城日報社　每日申報社

錺（三十）

布施生譯

こゝまで聞いて窓井學士は眉を顰めた『それでは輕地は貴下の手に懸つたのでございましたか、それで居て貴下はお届もなさらず—』『お言葉の中ですが自訴するのは少々躊躇致しました、御承知でもございましやうが繻衛と云ふ男は成るべく人を罪に落したいと云ふ意地の惡い性質です、殊更貴族や富豪其外身分のある者には別して苛く當りたがります、私が突然輕地の下手人だと自訴して出れば繻衛は好い餌食が出來たとばかりに私を捉へて理を非に曲げ果はどんな目に遇はせたか知れたものでは有りません、第一輕地は名高い錺職で加之に慈善家と噂に立つてゐる人氣男です、あれが殺人の大罪を犯してゐやうとは誰に話しても一寸信用する人は有りますまい、私の方には誰も見て居た證人は無し一寸辯解が六かしいからそうなると勢ひ私が罪に落ちます、意久地が無いやうですがそれを案へるとどうも自訴して出るわけには參りかねました』學士はまだ顰めた眉を開かず『でも貴方、貴方の爲に寃罪の罪で泣いてゐる者がございますが』『繻衛の事ですか成程あの男が師匠を殺したと云ふのは寃罪です、しかし何あれに罪が無い事が有るものですか、從來師匠が人殺の手傳をしてゐた事は明白です、私はあれが相當の刑罰に遇ふ事は當然と思ひますが師匠殺しと云ふ丈は唯今申上げた通り寃罪ですから折角身を入れて心配してやつて下さる事でもあり當夜の一伍一什をお聽に入れたら何かの御參考になりましやうかと思ひまして罷出ました次第です、貴女なら何も今更話をお聞になつたからこそ周章て繻衛に密告もなさるまい其段は安心致して居ります』學士は少時思案したが意を決して客に向ひ繻衛から聞いた始終を話して、何卒味方になつて繻衛の救出に骨を折つてと賴込んだ。

聞く事毎に驚いた富山大佐は偖はそうかと膝を拍つて今度は熱心な繻衛贔負になり繻衛の爲町子の爲是非〳〵出來るだけの骨を折りましやうと約束した、學士は喜んで樣々相談した結果二人で小久保辯護士を訪ね今の話を繰返して意見を求めると辯護士は聞終つて靜に頷き『まだそれ丈では法律上正面から繻衛の放免を求める事は出來ません、陛下に直訴をするには屈强な便宜が出來たと云ふものです、ですが唯今のお話を伺つた丈ではまだ少々不審の點がございます、私から少しお尋ね致しますから何卒お答を願ひたい』

大阪期米　二十六日後場（最終商報待ち）

寄附	二五、八三	二五、八〇	二五、七〇
高値	二五、八六	二五、八〇	二五、七一
安値	二五、八三	二五、七〇	二五、六七
止め	二五、八五	二五、七〇	二五、六七

仁川期米
△二十六日後場　大阪止め小高く後寄未著にして當限は中二十二圓〆三錢より二錢先
後場當限出來不申　▲中限（節二十二圓〆三圓二錢平均値段〆三錢　▲先限一節二十一圓九十七錢六錢五錢六錢五錢六錢五錢四錢二節九

二十六日の現物
寄付　二十一圓九十七錢
止メ　二十一圓九十三錢
高値　二十一圓九十七錢
安値　二十一圓九十二錢

會長　尾崎行雄
學監　遠藤文學博士　山内理學博士
創立以來拾有六年　會友百六拾萬人
大日本國民中學會
成功の捷路　は本會に入會するに在り。遠藤山内兩博士が熱心に指導し一ケ年半の短日月と僅少なる會費とを以て中學校卒業と同樣の學力が得らるゝは本會のみなり
講義錄大修正　茲に金壹千圓の賞を懸けて募集せし改良案に依り新學期より講義錄全部大改訂！
新學期開講記念特典あり　講義錄見本附會則申込次第無代進呈
東京駿河臺　電話本局一〇〇一番　一〇〇四番　三二〇〇番　振替東京四〇〇番

會長　帝國學士院會員東京帝國大學教授從四位文學博士　服部宇之吉先生
講師　林博士　岡田教授　宇野教授　北村教授　中村教授　鹽谷教授　島田教授　外現代一流大家
漢文講義錄
會則を見よ　申込次第無代進呈
第拾回新學期開講
漢文講義錄は東大支那哲文學研究室關係の諸先生合議編纂執筆に係り學科の選擇最適切に内容の完全は斯界の權威と稱せられ說明懇切如何なる初學者も解し得可く會長及講師親しく會員の質疑に答へ詩文を添削し名譽賛助員諸氏は每號靑年訓話を執筆せらる會費は極めて少額なり
此際入會者に限り各種の大特典あり
東京神田西小川町二丁目一番地　大日本漢文學會　電話本局三七八〇番

模範新形
本書は六法全書中の米の飯なり
太陽は吾人に光を與へ法律は吾人に安心を與ふ一日太陽無ければ吾人は一日の盲目也一日法律を知らざれば吾人は一日の迷者なり太陽は朝東に昇り法律は悉く六法全書中に收めらる云ふべしされど六法全書の世に行はるゝ實に五十餘種を數ふ而も皆同工同曲何等の特長なし然るが中に本書は斷然として群を拔き初版以來專門諸家の高評を博し今や訂正第二十七版を刊行するに至り蓋し六法全書中の米の飯を以て自ら任ずる敢なきに非す

イ印	正價金二圓三十錢　送料金八錢	ニ印	正價金一圓二十錢　送料金八錢
ロ印特製	正價金二圓十錢　送料金八錢	ホ印特製	正價金一圓二十錢　送料金八錢
ロ印上製	正價金一圓七十錢　送料金八錢	ホ印上製	正價金九十錢　送料金八錢
ハ印	正價金一圓四十錢　送料金八錢	ホ印並製	正價金八十錢　送料金八錢

清水の六法全書
清水書店編輯部編纂
東京神田今川小路　電話本局九六四、九六五番　振替東京七四四七番　清水書店

飛ぶが如く賣れる　責任保證　セントラル萬年筆の謝恩賣出し
世界第一米國ウォーターマン會社技師の妙技に成る完全無缺のセントラル萬年筆中最も品質優秀なる左の五種を撰び一千打限り殆ど卸直同樣の廉價なる上福引景品附を以て提供す
特一號　特價二圓二十錢（正價三圓二十錢）正十四金ペン純銀飾付インキ止
特二號　特價三圓（正價四圓五十錢）正十四金二重金ペン付十八金輪飾付インキ止
特三號　特價二圓七十錢（正價三圓八十錢）正十四金ペン無飾アドラス形インキ止
特四號　特價三圓七十錢（正價五圓五十錢）正十四金ペン十八金輪飾付インキ止
特五號　特價四圓八十錢（正價六圓五十錢）正十四金ペン十八金輪飾付インキ止
▲福引景品の種類（金額一圓毎に福引券一枚宛呈）
一等　五十圓（三越商品券）一本　四等　五圓（三越商品券）三十本
二等　三十圓（同上）五本　五等　一圓（同上）百本
三等　十圓（同上）十本　六等　萬年筆修繕券一枚宛　五百本
▲送料前金は弊店負擔代金引替内地二十錢領土四十錢　▲特價總數一千打賣切ると共に弊店樓上に於て新聞社員特約店代表者立會の上最も公平に執行東京地方主なる新聞紙上に發表　▲現品貴意に不叶時は三日以内なれば他品交換又は代金返却に應ず
▲修理廉價にて貴需に應ず
▲特約販賣御希望の方は特に有利なる御相談に應じ可申候
發賣元　高等文具問屋　東京赤坂區青山北町四丁目七九　振替東京三五四二一番　遠藤賢治郎商店
金ペン工場　下澁谷道玄坂　第一軸工場　赤坂青山北町　第二軸工場　四谷區傳馬町

法人登記
永登浦地方金融組合登記事項變更
一　理事富永是保ハ大正七年參月八日退職同日京城府永登浦里四百參拾貳番地ノ參加藤嘉一郎理事ニ就任ス
右大正七年參月貳拾五日登記
京城地方法院永登浦出張所

商業登記公告
株式會社漢湖農工銀行鐵原支店登記
大正七年貳月拾七日敷地分割ニ依リ本店所在地ヲ左ノ如ク變更シタリ、京城府南大門通貳丁目四拾番地
所在地ヲ左ノ如ク變更シタリ江原道鐵原郡鐵原面官田里九拾番地
右大正七年參月貳拾貳日登記
京城地方法院鐵原支廳

公告　京城府
一　漢江通練兵場前外貳拾七箇所
右來ル三月二十九日午前拾時入札

汽機　實馬力六十馬力　壹臺
石油發動機　八馬力　東京池貝製　壹臺
ポンプ　セントリフューガル　口徑拾二吋　壹臺
鐵管貳拾五尺
右割安賣却　來談願上候
京城南大門通五丁目　器械材料商　中村幸商店　電話三二五番

競爭入札廣告
左記物件を來る四月十二日正午限り競爭入札に附す
大正六年十一月新潟縣直江津海岸に乘揚けたる汽船さかい丸船體（鐵製鋼船）（總噸數〇九噸）（汽機汽鑵屬具一切）
並に積荷石炭
入札希望者は當會社東京本店又は大阪、神戸支店、横濱、函館、小樽、直江津、門司、長崎代理店の何れへ照會ありたし
東京市丸ノ内　東京海上保險株式會社

コロタイプ印刷
綺麗書類　諸記念寫眞帖
龍山漢江通八（電話五三六番）　門田寫眞製版所

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（廿六日）

▲本會議

廿六日の衆議院は本會期中最後の本會議なるに加へて本野外相は對露外交經過の報告演說を爲す可しと傳へられ特に午前十時より開議せるに拘はらず傍聽人續々と詰掛け議場又空席無く滿場緊張の氣溢る同二十分開議劈頭大岡議長は本野外相より發言の通告ありとて外相を麾くや外相登壇

▼本野外相　諸君本職は開會の初め帝國外交の方針に就き開陳せる際本大臣は露國の形勢に就き言及し置きたるが露國の形勢は日を追ふて憂慮すべき狀を呈し國內四分五裂の趨勢益々甚しきを加へ遂にウクライナ、芬蘭の獨立地方と中歐同盟側との間に講和締結され露國過激派政府も獨墺に屈服して單獨講和條約に調印するに至れり而して此間波羅的沿岸諸州の大部分及び是れに隣接する西北部地方も波蘭と共に獨逸の掌中に落ち南露も亦獨逸勢力の下に歸せんとする形勢となれり此點に對し政府は諸君と共に深く考慮を拂はざる可らず殊に聲明せる如く、露國民が如何なる政體を採用するやは帝國政府の關知する處に非ざるも露國が次第に獨逸勢力內に包容せられんとする危險に至りては到底帝國政府の等閑に附す可らざる問題なりとす、今や獨逸の勢力は着々歐露に扶植せられ漸次西伯利地方に侵潤し來るの傾向を示し來れり此事態は帝國は元より聯合與國の共に深く憂慮せざる可らざる事に屬するを以て遂に世に西伯利に對する帝國の出兵の問題喧傳せられ最近此問題は甚しく內外の世論を喚起する事となれり中には甚しき訛傳もあるやに信ぜらるゝを以て此の機會に於て本問題に關する帝國政府の立場を宣明し置かんとす

第一に此問題が恰も帝國政府の發案又は提議に基きたるが如き風說內外に傳はり居るやに見受くるも是は全然誤報なる事を明かに爲し置かんとす政府は何れの國に向つても日本出兵問題を發案又は提議せる事無し元より西伯利に於ける現下の事態に就いては政府は深甚なる憂慮を抱き殊に同地方に獨逸の勢力東漸の危險に就きては殊に注意を拂ひ居れり而して本問題に就きては聯合與國より未だ共同的提議を受けたる事なし若し將來聯合與國政府より如斯提議を受けたる時は最も慎重に考慮を加へたる上決定する考へなり帝國は現に今日迄も聯合諸國共通目的の爲め及ぶ限り誠意努力し居れる事は內外の周知する處にして將來と雖も同様努力す可き事申す迄も無し西伯利に於ける事態にして帝國の安固を脅し又は我緊切なる利益を危殆に瀕せしむる虞ある場合に立至らば帝國は其の自衞上敏速且つ機宜の手段を執るの覺悟を有する事は又申す迄も無し、萬一帝國が西伯利地方に於いて必要の行動を執るの已むを得ざる場合に至る時と雖ども元より露國を敵とするの意志は毫も無きのみならず、彼の獨逸が現に歐露方面に執れるが如き侵略的政策は帝國政府の斷じて執らざる處なり、又一般露國人民に對しては帝國は飽迄も深厚なる同情を寄せ絶ねず是れと和衷親睦の關係を保持せんと欲する者なる事を茲に誠實に表明するを憚らず猶此點に就きて聯合與國に於ても恐らくは同一の意見を有し居らるゝ事と信ず、是れを要するに帝國軍隊の出動たるものは係る重大事件にして萬一是れを決行するの事あらんとするも其前には政府に於て慎重を重ねたる考慮を盡す事は勿論にして此點は諸君に於て宜しく御諒察あらん事を乞ふ（以下夕刊に續く）

◎獨兵力集中

軍隊續々參加

半官的報道に據れば第一日の攻擊に參加せる敵軍は四十個師團を算したるが目下の處にては既に獨軍九十七個師團を算し其他の師團も續々參加しつゝあり即ち西部戰線に於ける獨軍全兵力の半は今や英軍に對抗すべく集中されつゝあり（巴里電報）

◎獨皇帝戰鬪指揮

廿三日附獨逸公報は戰鬪開始以來獨逸皇帝が初めて親しく戰鬪を指揮せる旨を報せり（倫敦電報）

◎獨軍の巴里砲擊

獨軍は佛軍全線より十二哩巴里より百二十粁の地點に遊致されたる遠距離砲を用ゐて二十四日午前七時再び巴里攻擊を開始せり敵は八分毎に發砲して砲擊を續行しつゝあるが是れが爲め既に數名の死傷者を出したり佛國政府は此砲擊あるにも不拘平常の通り公務を續行するに決したり（巴里電報）

◎英獨空中戰熾烈

廿三日英軍全線の空中戰に於て獨軍飛行機二十七機射落され猶二十臺は戰鬪能力を失ひたり又英軍飛行機は三臺射落され八臺は行衞不明となれり英軍飛行機は爆藥十四噸を敵に向け投下せり（倫敦電報）

◎浦鹽郵便局占領

勞兵會局長委員長を拘禁す

浦鹽斯德の郵便局は勞兵會の爲め占領せられたり郵便電信從業員一同は同盟罷業を爲し同時に委員會の決議に依り廿五日午前七時より一切の郵便電信事務を停止する旨を告示したり勞兵會は右同盟罷業の發表と共に同局長及び同盟罷業委員會長を拘禁したり（浦鹽電報）

◎過激派の謹愼

過激派は一般に在西伯利邦人に……見舞を爲しつゝありとの情報某所に達したりと

◎間島雜俎

……掛け粗布類は倉底を叩き三萬圓の買上を爲したりと▲間島病院の派遣したる巡廻施療所……就けても同施療圓が此誤解を發せしめぬ様に一應所在の支那巡警に出所に通告せねば……てをる馬鈴薯の多量なる間島にては確かに好事業の一たるを失はね

◎群山

▲卒業式、群……十名列席せり式了て生徒手製の茶菓……を饗應ありたるが本年度學事成績を……卒業證書を授與せる者二十……▲幼稚園繼續　群山公立幼稚園は既報の如く群山學校組合會議にて幼稚園……二十五日午後一時より私立養生商業普通學校卒業式を擧行し宇佐美內務長官臨席……

◎北濱後場激落

廿五日北濱後場大暴落し久原株は十七圓と云ふ近來に無き激落を見たるが這は要するに西部戰線に於ける獨軍が乾坤一擲の大攻勢を執り多大の損害を顧みず突擊猛進せんとする形勢と久原に對する某事件に關係の風說生じ前途を悲觀されしに基因すと（大阪特電）

◎紡績繰短繼續

多分實現せん

紡績會社は一月より六月迄の豫定にて繰業の一割短縮を實行し居れるが其期限滿了後も或る期間繰短を繼續す可しと主張する向あり實現するやも知れず（大阪特電）

◎永沼中將動靜

陸軍中將永沼秀文氏は二十六日大連を發し奉天方面へ向へり（大連特電）

◎京城物價騰貴

鮮銀調査二月中に於ける京城重要商品物價は騰貴二十保合五低落七を示し依然騰貴の趨勢にあり而して指數は前月の一〇〇に對し一〇四を示し居れり例により商品の騰落別を擧ぐれば左の如し

▲生產品の部

▲騰貴十三品　玄米、精米、大麥、小麥、大豆、小豆、鷄卵、薪炭、明太、鹽鯖、牛皮、牛

▲保合三品　木綿、紬、松挽材

▲低落二品　松薪、木炭

▲輸移入品の部

▲騰貴七品　麥粉、淸酒、綿ネル、支那綿、打綿、石油、マッチ

▲保合二品　醬油、燒酎

▲低落五品　砂糖、和金巾、石炭、……

騰貴せし各品の概況に付聞くに玄米及び精米は輸送難並に賣惜しみに基因すべく大麥は相當入荷あるも出兵說のため上騰し小麥は品薄と買註文頻到により硬調を來し大豆は引續き內地註文多く小豆は米價に伴ない騰り鷄卵は季節不足の爲め値頭よ……明太は出來との報に連れ先高氣配にて値頭よく麥粉は入荷相當ありしも爲替相場高く上原料不足……依然高かりしため益々高き狀況にありと

◎支鬪と勝手口（二）

鴨綠江に育まれたる闕鄙

▽市勢　新義州と安東縣の市勢を比較すれば廿人口に於て前者は後者の十分の一強、其經濟的勢力に至りては、或は其以下であらう、雖然に取り立てゝ記したいことは、安東縣では全人口四萬內外の九分は支那人で、日本人は僅かに一分を占むるに過ぎないが新義州では日本人が約四割、餘は鮮人と支那人が二と一の割合に成るので、人數の上から云へば安東縣は支那人の都會であるが、新義州は日本人のものであると云ひ得るとである。

▽產業　鴨綠江の流域は割合に耕地に乏しい、其代りに林產物は豐富である、安東四萬の人口を養ふべき資源は何と云つても木材を主とする、夫れから柞蠶に豆粕、大豆以外の穀類も少許は出廻はつて居るが、鴨綠江の大支流たる渾江岸の森林は、林業は關東の如く採木公司が專伐權をもつて居るが、代々の樵夫が稼業を認めて昔の通り伐截せしめ、其截り出したる木材に對して採木公司は、從價一割二分の稅金を徵して居る。否稅金と云つては少しく語弊がある、樵夫の截り出したる木材を採木公司が買上げ、一割二分の鞘を收めて賣戾すのである。又鴨綠江本流の沿岸では採木公司自ら人夫を入れて伐截して居る、而して截出された木材は、筏に組まれて安東迄流され、其處から滿洲へ或は天津其他北支那の各地へ供給されるのである、此岸に於ては、總督府營林廠の事業で、同じく江を下して新義州に送られ、主として鮮の需要に應ずることに成つて居るが、此方は後段に敍するとして安東縣に戾る、從來同地から搬出さるゝものは悉く山から截出したまゝの木材であつた、然るに近來滿洲各地から關東州在住日本人の需要が盛んに成つて來た、此に於て製材の必要が起つた、今でも天津等へは大丸太のまゝで送られつゝあるが、日本人向の品物は製材して供給することに成つた、其製材所は採木公司と大倉組の共同事業たる大規模の製材所を始めとし大小十餘個所位ある、夫等の製材所は昨年以來の好景氣で孰れも非常な利益を擧げ、年十割位の配當をしたと聞いた（野辟）

◎鮮鐵滯貨狀況

滿鐵京管局調查三月二十日午後六時現在の滯貨は合計三萬四千百五十二噸にして其內譯左の如し

▲滯貨內譯

十二月中申込	二、九二八	四〇
一月中同上	一〇、八二九	四七六
二月中同上	七、四五九	二、一九五
三月中同上	三、三八七	一、七三四
小計	二四、六〇三	四、四四五
釜山棧橋滯貨	一、七四三	五〇二
驛送中のもの	一、九八三	八七六
合計	二八、三二九	五、八二三

尙ほ從來就航中なりし臨時貨物船德壽丸は本月十六日釜山發を限り廢航のため十七日以降關釜連絡輸送力は定期船のみとなり一日六百噸內外に減少し滯貨を增す傾向あり陸軍の臨時貨物船の配入の豫定にて本州九州行き貨物輸送力は四月に入らば增加を來すべしと

◎佐連線復舊せん

佐世保大連間の海底電信線不通の爲め鮮滿山內地間の電報は甚しく遲延し居れるに付遞信局にては遞信省に對し手強き交涉をなせし結果遞信省にては修理船小笠原丸を派遣し修理に着手し居れるが……なれば二十七八日頃には全部復舊すべしと

◎滬寧線運轉中止

南京にてペスト發生の爲め滬寧線は閉鎖したる旨滿鐵京城管理局へ通知ありたるに付同局に於ては臨時聯絡乘車券の發賣を中止せりと

◎東拓移民來鮮數

本月二十二日附東拓釜山出張所より東拓本社に達せる報告に依れば同日迄に來鮮せし第八回移民總數百四十戶にして日々十五六戶宛の來鮮者ありと

◎小學教員講習會

京畿道管內小學校及び公立普通學校教員中三月末の學年休暇を利用し左記各講習を行ふべしと

▲理化實驗　場所京城中學校內講師京城中學教諭尾形友助氏期間三月二十六日より三十日迄會員京畿道公立小學校訓導首席以下四名宛

▲朝鮮事情　場所南大門小學校講師內閣中樞院調査官小田幹治郎氏期間同上會員京畿道公立小學校教諭大正五年一月一日以降の新任教師

▲理科と唱歌　場所京城高等女學校講師京城高等女學校教授中島猛太郎氏同竹村虎之助氏期間同上會員京畿道公立小學校女教員

▲朝鮮語　場所茶洞公立普通學校講師京城高等普通學校教授李完應氏期間三月二十六日より三十日迄會員京畿道公立普通學校及簡易實業學校の內地人教師

◎新入學兒童割當

京城學校組合にては本年度新規入學兒童數約一千五百名位の豫定なりしが二十五日迄の受附總數は一千四百十二名にして今猶未決のもの多數あるを以て總數は豫定の一千五百名に達すべしと而して右補出方を各校に割當しもの左の如し

[illegible]

右の通際は廿五日を以て發送し四月五日午前十時入學式を行ふ可しと

◎谷田少將動靜

陸軍運輸本部長陸軍少將谷田繁太郎氏は廿五日午前五時四十分着列車にて着釜山鐵道ホテルに入り休憩の後釜山運輸支部に赴き事務視察を爲し正午木支部長の案內にて稅關、大阪商船支店等を訪ひ午後十二時半發にて馬山に向ひたるが同地一泊廿六日午後五時半着にて再び釜山に引返し午後八時半の聯絡船にて歸任の途に就くべし（釜山）

◎金久保旅團長

第四十旅團長金久保少將は二十六日夜龍山發太田に向ふ筈

◎鄉津檢事正巡閱

京城地方法院檢事正鄉津友彌氏は管內事務巡閱の爲め二十六日京畿道安城方面に出張三十日頃歸任の筈

◎三島理事歸京期

鮮銀理事三島太郎氏は來る二十七八日頃總會其他の事務を帶びて東上中の處來月下旬京すべしと

◎李堈公妃歸京

亡父金思濬男一周年祭に參列の爲め二十一日扶餘に赴きたる李堈公妃殿下は二十五日歸京せり

◎貝沼課長內地行

滿鐵大連管理局營業課長貝沼謙吾氏は二十二日朝大連發內地へ向ふ

◎故千葉氏へ香料

去る廿三日東京に於て逝去せる千葉昌胤氏と交誼ある國分長官、鮎貝房之進等の諸氏は氏が晚年轗軻志を得ずして逝きしに對し深く同情する所あり當地に於て千葉氏と緣故ある人々と香奠祭粢料等を取纏め其遺族に贈呈せんと相談中なるが右に志ある方あらば本社阿部充家まで御申込みあらば夫々取計ふ手筈になり居れり

百鬼夜行

西原龜三君と云へば大分支那浪人的な豪傑肌の人の様に思ふ者もあるだらうが實は大近ひな人物である▲第一酒は飲まず煙草も喫まず平素から自分は無學であると標榜して今は東京青山邊に獨身生活を營んで居るが知人間では畸人と云はれて通つてゐるさうだ▲トロッキーと云ふ名は今度の露西亞の革命で誰でも知つてゐるが此のトロッキーといふのは雅號であつて本名をブロンスタインと呼ぶ相である▲何うしてトロッキーと稱したかといふに以前社會主義を宣傳したとき捕まつて繋がれた監獄がトロッキーといふ所にあつたので夫れを自分の雅號にしたものであるさうだ▲乱暴は想像以上で先頃のこととチタ市の横田ホテルへ五十餘名の過激派軍人が襲來してホテルを占領して了つたので横田ホテルの主人は店の明渡しを迫り自身で軍隊の本部へ行き隊長に談判した所が漸く明渡して呉れたさうだ。

雙東翁先生孫嗣

西崎鶴太郎

佳賓來訪浪江濱。汀柳丘松翠色新。一盞勸君何物好。春波漾漾滿前津。

需要し夥き

本場秩父銘仙を賣出し申候

□實用經濟向きの織物として一般の家庭に歡迎せらるゝは本場秩父銘仙なり。
□今や春色漸く酣にして旅行に散步に春衣新調の氣をそゝるげふこの頃本社は今回
□本場織元と特約し讀者諸彦に對し品質確實なる秩父銘仙を最も廉價に提供せんとす
□柄向きの嶄新にして必ず顧客の滿足を期するは本社が最も意を注ぎたる處請ふ續々御用命あらんことを

直段表

縞物（大柄千筋）一反 金八圓前後より十圓位迄
格子（中格子）一反 金九圓五六十錢より十一圓位迄
絣（中柄大柄）一反 金十圓前後より十二三圓位迄
秩父大島（小引合）一疋 金二十八九圓より四十六七圓位迄

◎御注文の際は男女年齡の別柄向きの御嗜好（縞とか絣など）及び價格御申越し下されはゞ必ず適當の柄見計ひ御送付申上候

京城太平通（振替京城三〇〇番）
京城日報社代理部

時計金銀製作販賣　品質保證　仁川本町　岐阜商店

大阪屋號

最新刊
最新和英辭典
字句活用文章講義
分析化學
大正名人錄
英語精髓
寫口上せ術
觀相訓
吉富三郎著定價八十五錢　小資本開業秘訣
大日本電氣
哲理と人生
新時代の宗教
灰と
早進化と遺傳
生命木
[illegible]

◎慰安會を新設す
救世の爲に◎活計を安樂にし失敗を取返さんとせば本會に加入せよ◎會則三錢郵券封入
資本百圓にて每月五拾圓收益を保證す乙種會員は十圓で事足る（治世の英雄）
高松市內町出雲社北
會長 責任無限 安達儀三郎
長電話八三七番〇大振一七八九二

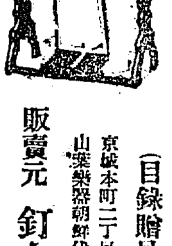
大募集
米的中
二十餘年來米商の經驗の奥妙を公開す〇鑑定に從事し益々的中する事實確實なる成功證一冊進呈す四月は米價の大變動期二百餘丁激變あり
至急申込めて必勝の明斷を得べし通信料六十圓
四月分
東京本鄕區湯島四丁目 神誠館

優等淸酒
廣島縣西條町
釀造元 木村靜彥
京城府鍾路（中央市場）
發賣元 河野酒店
電話二三〇八番

御料理
親子丼
すし
折詰辨當
仕出し
京城南大門集會所隣
大 福島屋
電話一五七四番

漸々縞シャツ
ノシーズントナリマシタ!!
柄ノ精巧ト地質ノ完全ナ蝶矢印ガ今年ノ流行ト定リマシタ。
登錄商標
朱子入マドラス
ゼ フ ア ー シャツ
大阪東京 潮谷商會

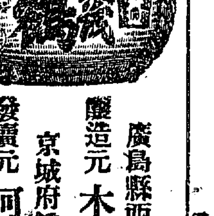
魚釣具及投網
◎◎◎◎島播用カスミ網各種あり（御申越次第定價表進呈）
小賣 卸賣
京城永樂町貳丁目 吉備商會
電話三一四番 振替京四三一八番



中風せきづい病
患者治療法は多年自療法專攻の京都市栗田御門内 川崎自療法研究所宛病名記入申込ば無料回答
（目錄贈呈）
販賣元 釘本樂器部
京城本町二丁目二十九番地
山葉樂器朝鮮代理店
電話一二八三番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番五八一番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所
龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

人事百般周旋業
萬年社
京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番



…に於ける暴擾に際し負傷せる邦人が入院せる病院に同地に於ける過激派の首領は態々訪問し懇切なる…林官帽が頭を擲げ十所といふ其以來の相場を現はし龍井邦商の手許に沈滯したる如何は此一擧に…原因は巡長の暎厥に基き故意に妨害したものでなく實藥行商人と見た誤解と知れ…たが夫れに

◇嫁菜つみ　—東大門外にて—

李王世子の御近狀

◇御歸東以來益々御健康◇

陸軍大學御入學準備のため高等戰術と高等英語を熱心に御練習

王世子附武官　金應善氏談

李王世子附武官金應善氏は一兩日前歸京したるが氏は語つて曰く

李王世子殿下には去る一月朝鮮より御歸東以來益々健康を增進せられ御體格の美事なること眞に驚くばかりである、當時殿下は直ちに相州葉山に御成りあり

◆兩陛下に拜謁 仰せ付けられ數々の御土產品を獻上せられたるに兩陛下には殊の外御滿足に思召し時の移るをも忘れて種々の御物語りあり殿下は其日の午後十時東京御歸還の御豫定の處聖旨に依り特に出發を延期せられ、折柄相模灣には警備の爲め橫須賀より廻航し來れる艦艇あり機械水雷爆發の壯烈なる光景を天覽に供し奉れるが此時殿下にも陪觀を許され殿下は

◆陛下と御同列 海岸を逍遙せられつゝ之を御觀覽相成り思ひも寄らざる面目を施されたる殿下には目下鳥居坂御用邸より聯隊へ通勤して居られるが演習等の場合は常に他の將卒と起居を共にせられつゝあり先日も東京より十里程の箱根ケ崎へ行軍せられたるが當日は飛雪粉々寒骨を刺すが如くなりしにも拘はらず非常な御元氣で辛い顏も平氣でせらるゝなど聊かも御疲勞の色が見ゑなかつた、尙殿下は昨今

◆陸軍大學校に入學準備として一週に三回特に參謀本部の嘉納中佐に就き高等戰術を黑川陸軍教授について高等英語を學んで居られるが此外夜分も熱心に勉强して居られる、晝間は軍務に鞅しまれるので此頃の殿下には寸暇もないと云ふ有樣であるが多大の興味を以て勉强して居られるのは感に堪へない

新設中學

四月中旬開校

▽土地調查局假廳舍を假校舍 ▽さして校長も近く著任

本年より京城に新設の中學校に在りては愈々入學試驗を京城中學校と同時に行ひ既に入學者も決定せるが聞く所に依れば豫算案も既に通過せるを以て爾來着々校舍の準備を急ぎつゝありて新校舍は南山方面に建築せらるべきも取敢ず土地調查局空廳舍を假校舍に充て來月中旬開校の見込にて新校長某氏も內地より不日著任を見るべく寄宿舍には永樂町元山林課分室を以て之に充て目下設備中なれば開校と同時に希望者全部を收容する由なるも尙開校の日時確定次第夫々入學者に通知を發する由なれば入學者は凡ての準備を見合せ學校よりの通知を待つべしと

愛兒と金塊を抱いて

露西亞へ出稼ぎの鮮人還る

咸鏡道開城生れの禹冕夏(五〇)は今より二十年前鄕里を後に露國に出稼ぎしペトログラードの近傍ヨツカセンブルに足を駐め

◆機械職工 として働く中多少の蓄財も出來たるより露國婦人を妻に貰ひ受けゼナチ(五)と稱する男の子まで設けたるが最近其妻に死別れ悲觀せる矢先國內は益々紛亂する一方にて生命財產の程も測られざる爲め住み馴れしヨツカセンブルを立退き歸鮮する事となり蓄財は

◆悉く金塊 として愛兒同道浦鹽斯德まで來りしも輸出禁止品たる金塊を携帶しては乘船する能はず強ゐて携帶せば沒收せらるゝと聞きて大に當惑し直ちに我總領事館に出頭して事情を訴へ何分の助力を懇願せしかば總領事館に於ても

◆深く同情 し取敢ず父子二人のみ露國御用船ヤカウト號にて出發せしめ金塊は二十三日元山に入港せる朝鮮會社浦鹽航路船平安丸に委託本人に送り屆けたりと

九州視察團寫眞帖　八

根島の大根

京龍情死史（十二）

戀の落人

氷の漢江に若き男女の抱合心中　逃れ〳〵て身の置處もなく

瓦斯堅縞の重著の上に縮緬の紫の紐を締め銘仙の羽織も戀人の贈物の借著か女縞の粹なのを引掛けた龍の男が忍びやかに彌生遊廓の朝日樓の裏口から出ると續いて艶めいた女の姿が此れも後見返り勝に現はれた、二人は冬枯れた

田圃中に出 ると顏見合せて『戀の逢瀨は温い情が過ぎて涙となつたが、戀い落人は涙まで凍つて了つた、此先人の關が何處まで越される事やら

あゝ情ない身の上になつたわい』『此期に臨んで男らしうもない愁嘆場はよして下さい、さ何處へかりとお前の好な處へ早う連れて行つて下さいな』女は毛繻子の襟の肌觸りの冷たいのを氣にしながらも男の心を引立てゝ共に手を握り合ひ人目憚る山道を麻浦に下りが豫ねて知己の

鮮人の家を 訪れた、二人は訝り驚く總角を眼で制しながら溫突の中に入りほつと安心らしい息を洩らしたが暇き來る敗殘の戀の哀愁は氣が弛むと同時に又新しい涙を誘うた『死ぬは最後の事よ、何處までも逃れませう、ね、假へ千島の果と離れても身體は二つに割かれても一念さへ通つて居れば同時に死なれぬ事はないわ』勵くしてから女は男の女々しさを叱るやうに强くきつぱり斯う言つた、强烈な

藥酒に眼瞼 も頬も赤う染つた女は色街の女に似げ勝ちの自暴で飮んでは苦しさうな息を吐き〳〵享樂的の氣分を自ら唆つて居るやうであつた、男は永い〳〵獄の生活の苦しみに未だうら若い心も傷手を負ふ鹿のやうに物事に怯へ寡して語るせいでもあらう醉へば浮世の無常が繰返されろ、女はそれが忌々しくもあり

憐れにも又愛しうも思はれた、訥な主の情で溫麵も運ばれた、酒の肴に片肉も出された

溫突は熱い までに燒かれた口慣れない味ひに女は幾度か顏を顰め乍ら男を窃み見たが男は主の情に賜まで註いまると言ひ〳〵藥酒の盃を幾杯も重ねた、二人は恁うした幾日かを薄暗い溫突の中で過したが艶めいた女の風情は人の眼を牽き易くそれ子に眼ある世の中で大膽にも眼と鼻の間の麻浦に身を潛めて居る事は險呑至極、世の手が直ぐにも振掛つて來るに違ひないと女が思ひ煩へば男も思案する、思ひ餘つた二人は追手が恐ろしさに又も雪降る夜嵐に吹かれながら當どもなく落ちて行つた

狡猾くも無い

京阪に較べて

出樣が遲くもない

此頃電話交換の苦情に對する服部局長の辯明

近頃京城の電話の應答が遲い交換手がだん〳〵狡猾くなつて來たと言ふ批難が多くなつたが服部局長の談に依れば電話交換業務監査に依り本年三月分の

▲成績を 見ると交換取扱總數の九割三分までは四秒以內で交換手が應答して居る然も通話數は昨年に比較して餘程增加して居るにも拘らず此の成績である先づ〳〵優良の方であると謂はねばなるまい之を東京に比較すると

▲稍良い 大阪に比しては遙かに優良であるが郵便局では尙此上にも加入者の滿足を計るために出來得る限り交換手を熟練に努め九割九分までは三秒以內位で應答の出來得るやうにしたいと考へ二三日前から工事を施して一人の受持數を減じ

▲交換手 の負擔を減じた今後は從來よりも成績が宜くなるだらうと思つてゐるそれから加入者の中には信號しても出るのが遲い人があるので器械電線の故障でもあるのではないかと試驗して見ると別に異狀もない其處で更らに呼んで見ると暫くしてから

▲返事を する者が每日平均百以上に達し異狀が全然ないので返事をしない者が二百にも達する位であるから交換手の應答の敏速を計ると共に加入者も少し注意して電話に早く出て貰ひたいものである

◆今年流行の春の服

色合は青味がかつた物　型は身體にしつくりとついた物　澁い中に派手なところが面白い

花は咲かないけれどももう四月に間がない人々は事務に散步に重い外套を脫ぎ捨て薄地の輕い洋服を著るやうになつた、これの春の流行それには色合、型、地質と色々あらう昨年の秋頃からの傾向だが

◆型は 一般に體に著いたものが流行するこれは戰爭の影響で、現に米國などでは腰を取つたり帶を著けたりしたものを、散步と云はず事務と云はず平氣で著てゐる位だが、日本ではまだ之れ程まで大膽には成つてゐない、然し

◆輕快 な一見清々しく見ゐる型で支配されてゐる色は茶の流行が漸く影をひそめて、靑味の勝た日本人には寧ろ華美過ぎる位のものが之れに代るやうになつた、例へばメルトンを綴るのに靑色を土臺として、それに茶、鼠等を織混ぜにする、すると毛並に因つて

◆色々 の味を見せるばかりでなく、仲々洒落た物が出來る、これからの散步などには極めて寫りの好い色である、縞物は總體に荒くなつた曾て見た夜具のやうな縞は流石に見られないが東洋風の—例へば唐棧とか縞織とか云ふやうな縞が—非常に

◆多く なつたのは事實である、それ故一見上著かズボン地かを間違へるやうな物も少くないが、一體に澁い中に華美な處の多いのは面白い

價格から云ふと、背廣が四十圓以上六七十圓迄、モーニングが九十圓以上百二十圓、フロックが九十五圓以上百三十圓位の處である

◆一般 に非常な騰貴だが、地質は丈夫と云ふ事が主になつてゐるから持から云へば大した相違はない

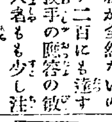
毒饅を贈りて一家鏖殺せんとす

何れも人事不省

京城松原町十八番地大原久藏方の郡部入る菊樂小路なる穴太宗太郎方へ一家六名を毒殺せんと毒饅頭を贈りし者あり家族は何氣なく之れを食せしより六名共人事不省に陷りたり目下犯人嚴探中（大阪時事）

水戶郵便局の貯金非常拂

本紙廿六日發刊電報の如く水戶市大火に付同地郵便局は預金の非常拂ひをなす旨當局に通知ありたり



◎黃金館　例の日蓮上人一代記にて大好評を博し天氣にも不拘每夜大入りの盛況を續け居れるが同館にては二十八日迄日延べをなし申込みある由

◎給仕募集　京城黃金町遊樂館にては給仕十名を募集する由にて尋常科卒業以上の少年なるべしと

▲大正館　例の爪哇動物は相變らず好評にて連夜大入りを續け居れるが中にもキネマ界に大好評を博し居りし本寫眞の終編の興味は味はふの期間も僅二三日に過ぎざるべし

▲小國民　有樂館にては二十七日より全部新寫眞を差替ゆる筈なるか今回は特別興行さして京城小國民全五卷なるユニヴアーサル社の傑作寫眞は文藝寫眞として有名なるものにしてグロリアナと呼ぶ可憐なる少女を中心として起る悲劇に險惡なる戰爭を背景としたるものにて面白きもの なり、亦連續活劇金剛星全四卷は小林某の任居の場面に於て公演する由その他の寫眞は左の如し

▲寫眞スクリンマンガジン第三十一號▲實寫眞二卷▲戰爭劇▲馬場鹿の術▲小國民全五卷▲義士外傳高田の馬場二卷▲喜劇全四卷▲新派悲劇中組

▲義士廼家　既報の如く當座にては四月興行として浪曲義士廼家一行に開場すべく一行は來る三十一日夜南大門驛に乘込み一日花々しく町廻りを爲したる上二日午後五時より開場すべしさ尙は一行中には女優十數名加はり居る由

▲浪花節　大阪娘義太夫竹本若千代一座にて興行中なるが連夜可なりの入りありて好評を博しつゝあり

◆初めて出た鮮人女優　向つて右より金海志、金英興、安蓮紅（二十六日夕刊參照）

急告

拜啓每々格別の御厚情御引立を蒙り千萬忝く奉謝候陳者豫て發表致し候『最新朝鮮地理』の儀引續き多大なる御歡迎と御期待とを辱ふし支那朝鮮は勿論日本內地其の他各地の學校及各階級を通じて多數の御注文に接しつゝ有之候にも不拘遂に豫告の三月十五日を發行の運びに不到誠に申譯次第も無之只管苦慮罷在候實は此多大なる御期待に背かず質實に於て決して他に求むべからざる精密且完全なるものさして誇るべく人力の及ぶ限り多方面に向つて一層の審查研鑽細心の注意を怠らざりし結果其の頁數に於ても約百五十頁の增加（總頁八百五十頁）と相成隨て發行も亦遲延致候のみならず乍遺憾定價も左記の通り改正するの已むなき事に相成候儀特に各位の御諒察と御寬容希上度茲に其の理由を謹告仕候次第に御座候發行は愈々四月上旬と確定仕候に付御良考相變らず御引立御用命の程奉懇願候　敬具

▲改正定價金二圓　郵稅十二錢▼

發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

家庭の幸福を希ふ人は來れ

住宅

生活の充實を望む人は讀め

四月號出づ　價値ある記事挿繪　参考になる

▽あめりか式建築（承前）　樋口さくら　▽前田館主▽審查に就いて　佐藤功一

▲本會所設計懸賞當選

發表▲當選圖案說明…

□郊外住宅　美しい寫眞

●清閑　石版刷平面寫眞及當選圖案五種

所設計圖三等當選圖案五種

雜誌不第二卷合本　假綴一冊　郵送料八錢

本誌定價　一部　廿錢　半年　一圓廿錢　一年　二圓四十錢　郵稅共

東京芝區南佐久間町　住宅改良會　振替東京二八八四六

飛ぶ樣に賣れる

TRADE MARK

トヒト萬年筆

魚形　水形　電形

少年用廿五錢　同卅五錢　實用新式インキ止　五十錢

到處文房具洋品雜貨店にあり品切の際は二三錢切手又は振替東京三八七〇二番へ御申込あれ

發賣元　東京淺草新福井町　愛隣製作所

特約販賣店　京城永樂町二　堀崎商店

謹告

謹啓各位益々御淸勝の段奉慶賀候陳者從來當所に於て亞鉛鑛及鉛鑛買鑛罷在候處都合に依り當分右鑛石買入中止可仕候間幸に御淸恕被成下度此段謹告仕候　敬具

大正七年三月

久原鑛業株式會社　京城事務所

同　鎭南浦製鍊所

小學教員養成講義

獨學

もして勉學も最も都合よき小學教員となるに限る本會は

生諸君の爲に師範學校教頭修の下に最新の教授法に依り就職に至る迄指導す●見本及會則無料進呈●東京小石川局下　帝國師範教育會

□獨學自修により成功せんとする男女青少年諸君は先づ容易に就職受驗先生に

有給支店長採用

世界に一つしか無い最新發明の明光ランプの販賣なら確に儲けて非常な人氣で莫大の金儲が誰にも出來る此際大儀用品で飛ぶ程賣れて一ヶ月恰五圓以上百圓迄を給す希望者は至急申込め規則書送呈す東京市日本橋區濱町三丁目壹番地明光ランプ販賣所

京日案內

▲普通一回前金五十錢（一行一回）▲番外壹回前金一圓（一行一回）▲申込は前日中正午迄▲廣告文は活字のこと▲御照會は必ず返信料を要す

●京城古市町電話二七四六番　硝子工場　主　畑六一　販賣類　畑兄弟　工場特製人蔘エキス瓶に限る其他一般の御注文に可應候

●電話讓物有　本社十六番へ

●寳物あり御望の方は至急御話下されたし　電話二五一九番　明治町二中央婦人病院前　有木　573

◎栽縫師數名入用　但技術熟練の者希望者至急照會あれ　開城大和町廣島屋洋服店　035

◎算筆の出來る夫婦者入用　但し年齡四十歲以上にして子供なき方　新町君の江　583

●店員か名入用　十五六歲高等卒業程度の者直接來談あれ　雜貨卸商　京城長谷川町鬼頭支店

●事務員募集　但中學卒業生二十歲以下の者鑛山事務員に採用す希望者は乞來社　黃金町壹丁目不二興業株式會社　577

●店員入用　十六七歲位高等小學校卒業の者希望者は本人直接來談あれ　吉野町一丁目（自動電話角）貿易商　中島竹次郎　572

●運送業に經驗あるもの數名入用又は履歷書送れ　仁川　京城日報支局　571

●記者入用　志願の者は履歷書携帶本人來談ありたし　京城黃金町一丁目　京城新聞社

●看護婦見習入用　希望者來談但市內の者を要す　京城本町壹丁目　石川醫院　567

●店員及集金人入用　年齡廿歲より卅歲迄但要保證人　蓬萊町三丁目　電話二〇七九　酒見醤油店　557

●恩給年金立替　五年半三年分迄無保險　京城若草町　電話一三九一　金光教會裏手　國江商會　481

●社員採用　內勤外勤數名採用四十才迄希望者は自筆履歷書携帶午後四時より六時迄の間に來社あれ　黃金町二丁目　太平生命保險支部

●藥學生募集　四月五日新學期開始出願期日三月中規則書は左の店に有之　◎新井山岸北島宮本梅崎教世藥舖和田堂　朝鮮藥學講習所　553

●高級商業教育を受けたる所員三名募集す有志望者履歷書送れ　京城黃金町一丁目二百拾番地　朝鮮興信所　552

●朝鮮語科　英語科　新學期三ヶ月卒業各級募集　大門通京城銀行向ひ　京城商業會　581

●店員入用　臨時十四五歲の者數名但し安東縣支店行き　京城本町二　龜屋商店　584

●見習看護婦五名入用　本人至急來談あれ　黃金町二丁目電話二八三　鮮明診療病院　586

大阪株式時電
大阪商船 二九〇・〇〇
日本郵船 一八七・五〇
同新株

大阪期米 二十六日後場
二十一圓九十七錢と二錢高に寄付十五錢四錢五錢四錢三錢四錢三節ヂリ〱四錢と下道ひ二節九十五九十二錢三錢四節九十四錢三錢四錢より三四錢三節更に二錢を押し錢三錢

平均 二十一圓九十六錢
最高 二十一圓九十三錢
最低 二十一圓九十四錢

櫻御殿

第百八十四回 大阪殿の家主人

座敷牢（二十二）

「清之丞様々々」

心の迷ひでは無く、呼び聲がきた聞こえた。清之丞は彈かれた樣にうしろへ手を支いて

「誰ぢや」と呼んだ

「お靜かに」と氣を付けるように云つて「わたくしでござります」

さう云ふ聲に聞き覺えがある。清之丞は窓の下まで匍ひ出して

「爾う云ふは道齋か」

「御意にござります」

「道齋ぢや〱、道齋の聲ぢや、克う參つてくれた。懐しう聞き申す」

嬉に捉まる如くして、窓から青ざめた面を出した

「おゝ、清之丞さま、さぞ御空腹でございませう、先日から心には繋つて居りましたが、機會なくて參りかねて居りました。まあこれをお受け下さいまし、お母様からお使はしのお料理でござります」

日窓の間から小重箱をさし出した、清之丞は夢かと思ふ

「それを手前に……?」

「お母さまがお手をお付け遊ばしたお料理のお餘りでございます、お粗末でも、お母さまのお情が籠つて居ります。どうか其のお意でお召し上り下さいまし」

「有難い、辱い、殊に母樣のお餘りを戴かうとは、今日の今まで存じがけで居つた。この嚴しい番人の目を盜んで、どうして持參致しくれたか、苦辛のほど嬉しく思ふ」

「御恩報じでございます。あなたのお執成が無かつたら、手前の一命は清洲のお城で絕ねて居たところでござります。初瀬どのへの過去の怨みを報はうとして居たところ却て恩で報はれた嬉しさは、夢にも忘れて居りません。その御恩返しでござります。どうぞお召し上り下さいまし。番人には酒を取らせて、悉く醉ひ潰して了ひましたから、斯うなれば誰に氣がねも入りません、明日の夜からは缺かさずお食事をさし上げます」

「何とも云はね、心切を嬉しく受けるぞ」と清之丞は重箱を戴いた兩の眼から落ちる涙が、夜の暗にも珠と閃めく

「お母さまはわたくし方へお供ございます、お母さまの思召しは、御不自由なく御介抱致す心得でございます、あなたと同じく食を絕つて、飢死を遊ばさうとのお覺悟と見ねてございます。もしもの事があつては大變ゆゑ、何か證據の品をお遣はし下さいまし、それで無くては、お母さまのお覺悟を打ち碎くことが爲きません」

「何から何まで過分に存ずる、證據の品と云うて外にはないが、お母さまお手づからお縫ひ下された襦袢の袖を千切つて進せろ、これを上げて下さるまいか」

「好い證據でございます、それでは左樣に遊ばしませ」

清之丞は襦袢の袖を引き切つてそれを道齋の手に渡した

「お料理は緩々お上りなさいまし、それで無くてはお母さまのお心盡しが分りません、お重箱は明日の晩戴きます、よもや詮議があらうとは思ひませんが、人の目にかゝらぬようお心づかひが肝要でござります」

「わしの爲めには神ぢや、佛ぢや、人間とは思はね、辱い」

清之丞は窓から兩手を出して拜んだ、道齋は襦袢の袖を懐深く納めて、暗い庭を踊つて行く

雨はいよ〱強く降る、番卒部屋に酒の香は絕ねて鼾聲が高く響く

清之丞は料理を戴いて一口食ふその時の旨さ、太牢の滋味もこれに及ぶまじと思つた

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進羽根布團製造修理
萬毛皮高價買入 鳥羽毛 剝製標本
貿易商 樽元商行 京城本町二丁目
電話（長）二〇六番 振替京城三四九九番

拔け目の無い米國商人

西伯利亞の森林から戰亂で破壞した家屋を

西伯利亞には澤山に隱れた富源がある中にも鑛山物の豊富は驚く許りである今迄露國では其鑛業方面に關する施設が幼稚であつた爲めに之に著手しなかつたのである而して特に將來有望と云はれてゐるのはウラル山中の

▼金銅や レナ河の上流、黑龍江の支流たるゼヤ河の沿岸から出る砂金で之は頗る嘱目されてゐる現にチタの地方にあるボダイボ附近からは砂金が盛んに採集されてゐるのであるから獨逸が食指頻に動いて穩やかに此方面に潛勢力を布殖しつゝあるのも無理はない之に對して米國が又頻りと其

▼採掘權 を得んと勸めてゐる事も事實で日本の資本家の中にも秩序さへ立てば資金は幾らでも出すと云つてゐる者があるので此の鑑三つ巴の暗鬪と云ふ面白い場面である更に西伯利亞で有望なのは森林であつてガヤ近傍には斧鉞を知らぬ深林が鬱々として晝暗き迄に茂つてゐる其材木は檜に類した針葉樹で非常に大きくして堅いから

▼建築用 としては最も宜しい、米國では疾に目を附けて此戰亂によつて頽廢した西歐の都市を此邊から伐り出した材木で再び建直さうと云ふ大計畫を企てゝゐると云ふ事だ

京 呉服
京都 たまや出張店
本町一丁目 電話一九六

讀者の領分

▲女中の轉々〱永續きのしないのは其罪主從両方に有り而も彼等は無智なり彼等を愛し指導するは社會人道に對する最上の義務なり辛抱させぬ罪は寧ろ主家にあり先づ奥さんから先きに敎育すべき問題なり（賢女）▲これから春先きから夏にかけて南大門の宮鑑の中を通ると必らず言ふに言はれぬ異臭を感じます、これは朝鮮の勞働者が同所を共同便所のやうに心得て放尿するからであります、苟も京城の玄關口が非常に不潔で臭くては初めて來た人に京城は臭いところといふ惡い印象を與へます即ち當局の取締りを切望する次第です（赤電燈）▲道路の撒水はいつから始めるのでせうかこれから埃りの多くなる時に特に早く撒水をして貰ひたいと思ひます（一商人）▲京城府廳の役人が横柄だとありましたが窓口、窓口によつて違ひます民籍係りの窓に居る人などは割に叮嚀と見ました（土曜日生）

京城龍山等各地に僞物有御注意
百圓呈進 りん病 ばい毒
帝國醫科大學院病
淋病第三期は治癒和とも梅毒第三期は脳梅内服箔とも醫界學上最有効と確定し著にて實驗配劑せる高貴薬あるを保證す若し前述の言に違ふ事を發見せる時は分析料百圓進呈
▼あらゆる治療を施すも効なき患者先に一度來談あれ
にせ物 東京其他各地ににせドラッグあり
大阪有田 製藥を買取あれ
◎にせ物と好商
大阪有田
南大門外 有田ドラッグ商會
黄金町三丁目 有田ドラッグ商會
大阪 有田ドラッグ 京城南大門外停車場通 大阪三休橋

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四一番
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治

◎發熱と檢温器＝家庭必備◎
△代表的模範 檢温器▽
朝鮮總督府醫院檢定證附
定價特製壹圓四十錢 郵税十二錢
優美サック入
本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確と技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞僞は現品に徵せられたし
商標 PINE
パイン檢温器發賣元 京城日報代理部
振替貯金京城三〇〇 電話長六六〇 三三六

ドンナ赤毛でも
ちらが自然の色艶に染る
理想的赤毛染 ちらが ナイス
《五大特長》
タツタ二十分で染る。
自然の色艶に染る。
洗ふて剝げず永く保ち。
襟枕に汚着の憂なく。
用法至極手輕便利也。
價 大瓶 金七拾錢 小瓶 金四拾錢 男子用 金三拾錢
全國藥店 化粧品店 にあり
發賣 大阪 東京 丹平商會

アラ不思議な繪
アナタが何んだらうといふ好奇の眼でこの繪をゴランになつた一刹那
血の道子宮病は何うしてナヲス?
もしも、あなたが生理學を學んだ方でありましたなら、スグこれは人間の腦髓の譎ぢやないかと仰せらるゝことゝ存じます、しかし、しかし猶ヨク熟視してごらんになりましたならば、ナーンダ笑談ぢやない、小兒の集合なんだね、巧くごまかして描いてあるねなどと、一笑されることゝ存じます。近頃は御承知の通り和漢藥の効驗といふことが、日本の醫藥界の問題になつて參りまして、純植物性の煎出藥で、婦人血の道子宮病の特効藥として海外にまで有名な、日本第一の婦人藥中將湯の賣行などは素晴しい勢力でございます、然し一と頃西洋藥流行の反響で、振出藥などは科學的の根據のない時代遲れのクスリだなどと一部の人達から輕視されたこともありました。
それは恰度この繪をゴランになつた時と同じことで、學問智識といふ形式のために、反つてもの〻本体眞價を見誤つた結果でありました、生理學を知らぬ方が最初からこの繪を見誤ることのないやうに、學理が科學がといふことをカレコレ仰せられぬ御婦人には「何しろ中將湯はヨクキクから」といふので御愛用を受けて居つたのでございます、最新式の學理的のといふ言葉に眩惑されて、キゝメの曖昧なクスリをウッカリ購ひ求められて後悔遊ばした御婦人も最後はキット中將湯の愛用者となれますが、最近の進歩せる學理藥物化學の研究に深りまして中將湯の靈妙作用は立派な學說として發表されることになりました、何んと云つてもクスリの眞價は効驗でございます。
藥効本位の中將湯がいよ〱世界的婦人藥たる榮譽を得たのはまつたく眞價の賜でございます。

寫眞 寫眞銅版、亞鉛版
寫眞出張撮影
京城日報社 寫眞製版部

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
神代丸 三月 日後四時出
秀吉丸 三月 日後四時出
君代丸 三月卅一日後四時出
大有丸 三月 日後四時出
仁川港海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船 仁川出帆
大連行、天津行
相模丸 三月二十 日
三河丸 三月 日
高砂丸 三月卅一日 正午出
仁川港海岸町一丁目 電話 堀回漕部

阿波共同汽船 仁川出帆
芝罘、大連行 關東都督府命令船
共同丸 三月 日午後入港
二十一 三月 日午後時出
朝鮮總督主要港に於て阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城代理店 河村運送店

汽船 釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 月 日後五時出
立神丸 月 日後五時出
○元山、浦津、浦鹽行
和歌浦丸 月 日後十時出
立神丸 月 日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天典丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三榮平丸 三月 日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三榮平丸 三月廿二日後六時出
釜山港 大池回漕部

朝鮮郵船 出帆
本社 電話長一九五三
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城南大門通 松原運送店
第二商運丸 成鏡丸 京畿丸 忠清丸 月 日 釜山發
元山より北鮮各地經由雄基行
慶尙丸 京城丸 京畿丸 忠淸丸 商運丸 月 日 元山發
大阪行（釜山門司經由）平壤丸 月 日 釜山發
元山ヨリ釜山關門行 第二商運丸 京畿丸 月 日 元山發
元山ヨリ江原道寄港釜山關門行 咸鏡丸 忠清丸 月 日 元山發
鬱陵島行浦項及各地經由 盛德丸 月 日 釜山發
浦項行 江陵丸 慶陽丸 毎日 釜山發
濟州島行長承浦麗水巨文島經由 濟平丸 月 日 釜山發
濟州島行（東廻）（西廻） 東廻、公州丸 西廻、慶興丸 月 日 木浦發
釜山、麗水間 濟州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發
木浦麗水間 順天丸 南陽丸 三日目毎ニ 木浦發
木浦ヨリ多海島各島行 慶興丸 月 日 木浦發
仁川木浦行 晋州丸 金海丸 月 日 仁川發
海州行 全州丸 南陽丸 三十一日八休航 毎日 仁川發
其他結氷ノ爲メ休航
南島行 江原丸 月 日 仁川發
濟津行（大阪神戸門司より）咸平丸 月 日 釜山發
御注意 外航所屬汽船ノ時刻ハ五分前ヲ以テ締切ル
大阪商船株式會社 仁川支店
京城切符發賣所

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸大阪行（群山寄港）
須磨丸 三月 日 後五時出
日清丸 三月廿八日 後五時出
南部丸 四月十三日 後五時出
木浦、釜山、嚴原、獅ノ浦、長崎行
安東丸 三月二日 正午時出
群山、神戸大阪行
安東丸 三月 日
南部丸 四月二日 後二時出帆
元山出帆
西湖津城津新浦清津行
宮島丸 三月二十八日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 三月廿七日 後九時出
大連出帆
上海、基隆、打狗行
湖北丸 四月十三日 前六時出
基隆丸 四月十六日 後四時出
內地各港出帆主要航路
南米行 一年四回
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月二回
孟買行 毎月二回
南洋行 毎月一回